

学科	観光文化学科
氏名	谷本 仰

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
キリスト教学Ⅱ	1	後期	必修	いいえ	71

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>対話を大切にしています。あらかじめ用意された唯一の正答ではなく、学生たちひとりひとりの経験や考えに基づいた多様な応答を引き出し、これにその場で応答しながら授業を展開します。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された			達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>テスト、及び授業評価アンケートの総合的判断に加え、それらに数値として反映しえない、授業における学生たちの積極的な雰囲気(笑顔、楽しんでいる様子、発言、相互の関わり等)、そして独自に実施している全授業毎の全員へのアンケートにおいて示された意見や感想を含むフィードバックによる。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>内容的に妥当であると考えている。キリスト教がこの大学の建学の精神、礎、柱であることが、必修科目として、また入学直後の一年次の開講科目としてキリスト教学が設定されていることにおいて表されていると思う。この授業においてこそ、キリスト教の精神や本質が発揮され、分かち合わなければならないと思う。従ってここではキリスト教に関する知識の習得やその体系の理解に留まらず、この授業そのものを通して、キリスト教の体現しようとしてきた希望のこと、愛すること、生きること。諦めないこと、自分を大切にすること、他者との対話や共感を大切にすることなどを自分自身に関する事柄として捉えうる授業が目指されなければならないと思う。そしてそれは、必ずしも学生たちが現段階で自分の職業選択や将来に実利的に役に立つかどうか等の評価には馴染まないと思う。学生たちの自己評価を超えて、この授業を通じて分かち合われたものが、「種」のようにひとりひとりのいのちに満たされていくことを願っている。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

特に大きな改善課題はないと考える。クラス毎に、学年ごとに、個性があり、違いがある。その個性や違いに応じながら、今後も授業を進めていきたいと思う。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

キリスト教学の授業は、楽しい。学生たちとの対話に満ちた90分は、いつも授業を担当する自分自身を新たにし、開いてくれる。その対話の中で、希望を学生たちと分かちあうことができるよう、今後も努力していきたいと思う。

学科	観光文化学科
氏名	柳澤 伸一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
西洋の歴史と文化	1・2・3・4	後期	選択	はい	21

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機では、「単位数を確保する」を選択するものが74%、「関心のある内容である」が32%であった。必ずしもすべての受講者が積極的な受講動機を持つわけではない状況の中で、高校世界史の履修を前提に、ヨーロッパ世界の過去と現在のつながりを絶えず具体的に指摘しながら、授業に関心が持てるようにした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	どちらともいえない	どちらともいえない		どちらともいえない		
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	成績は、秀が5%、優が21%、良が52%、可が21%であった。良が過半数で、傑出した成績を上げた者が多いとは言えない。到達度自己評価では、全項目が中央値前後であった。授業の質評価では、評価基準、学習の範囲・課題の明確さの項目が中央値以上であったが、学生参加の項目では中央値以下であった。					
<p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、総合人間科目の一つで、DP1、DP3に係わる位置付けがされている。到達度自己評価に関する上記の評価に鑑み、内容的妥当性は、DP1に関して一応はあるが、DP3に関しては不十分である。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業は、教科書を使い、毎回、テーマに沿って、レジュメ1枚と関連資料数枚を配布し、基本的に講義形式で進めた。資料の作成に関しては、最新の新聞記事も使い、歴史と現在との関連が捉えられるようにした。講義を踏まえ、折々レポートを課したことは有益であったが、予習・復習に関しては、学生任せにしたきらいがあり、教員には、課題を具体的に与える姿勢が求められた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

高校までの世界史の履修を前提に、講義を通してヨーロッパ史について新しい知見を与えることが出来たと思うが、アクティブラーニングを促す工夫では改善の余地がある。

学科	観光文化
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
アジアの歴史と文化	全学年	後期	選択	いいえ	46

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>1. 受講動機をみると「単位数を確保する」48.5%、「関心のある内容である」57.6%となっております。学生の関心を引き出し、多くの学生に履修してもらえるように、シラバスの作成に工夫が必要があると思われる。</p> <p>②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。</p> <p>③演習の7回目にレポートを提出してもらい、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された		やや達成された		やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は88点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的レベルに達したと思われる。目標別に見ると、知識理解に関しては100%、意欲関心に関する問題は90%、態度90%であった。それぞれの目標がやや達成されたことを示している。学生による授業評価においては、知識理解、意欲関心、態度の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。図書館、インターネットの利用に関しては、それぞれ、8%、21%で、図書館とインターネットの利用については、さらに指導することを考えている。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から知識理解、意欲関心、態度に関する達成度がある程度のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「アジアの歴史と文化」であるが、「海外研修」「アジア観光文化交流論」をつなぐ要の位置にある。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であるとする。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、評価が良かったが、「何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」という質評価について、約13%の学生が「少しそうでないと思う」と回答している。次年度に向けては、学生の質問を受け付け、それに答える機会を作っていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

本科目は「アジアの歴史と文化」であるが、「海外研修」「アジア観光文化交流論」をつなぐ要の位置にあるから、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。

また、学生の知識理解、意欲関心、態度を高めるために、授業中に話し合う、発表を行う時間を増やすようにしたい。

学科	観光文化学科
氏名	廣瀬 信之

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
心理学	1・2・3・4	後期	選択	はい	105

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講生の積極的な受講態度を促すために、実際に体験できる実験やデモンストレーションを取り入れ、自らの体験として現象を理解できるようにしている。また、毎回の講義の後半10-15分程度を取って、その日の講義内容を自らの日常体験と関連づけて考え、コメントカードに記す時間とし、心理学を身近な日常の中にあるものとして感じてもらえるように努めている。</p> <p>受講動機を見ると、「関心のある内容である」(70.2%)という積極的な動機が「単位数を確保する」(44.0%)という消極的な動機を大きく上回っており、心理学に対する関心の高さがうかがえる。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された				
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	標準的レベル(70点以上)に達しなかったものが2名いた。理想的なレベル(80点以上)に達した者は全体の68%であった。学生による到達度自己評価では、全ての項目において学科の平均点を上回り、特に学科DP1に関連する知識・理解の平均点が3.5-3.7と比較的高かったため、目標はおおよそ達成されたと判断した。					
<p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、「心」の働きを科学的に研究する学問である心理学の諸領域について幅広く概説する授業である。知覚・記憶といったベーシックなテーマはもちろん、言語や思考といったテーマ、さらには社会的環境や文化が心の働きに及ぼす影響などについても触れており、観光文化学科のDP1-1(社会人としての基礎的な学力を修得している)やDP1-3(ビジネスの領域について幅広い理解と知識を身につけている)に照らし合わせて、内容的に妥当であると考えられる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において「説明が理解しやすいものであった」の平均点が3.7と学科平均の3.4を大きく上回ったことは評価できる。

一方で、講義の後半10-15分をその日の講義内容を自らの日常体験と関連づけてコメントカードに意見を記す時間にあてたり、コメントカードに記された質問内容のいくつかに対して次回授業の冒頭で回答したりしたにも関わらず、「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」、「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」の平均点がそれぞれ3.0、3.2と低かったことは反省点である。これらの項目の点数は、他学科においては学科の平均点を上回っていることから、本学科の受講生の積極性が少し欠部分もあるかと思われるが、来年度は何らかの工夫を講じてこれらの点数を改善できるよう努めたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

到達度自己評価などを総合的に見ると教育目標はやや達成されたと言える。ただし、受講動機として「関心のある内容である」を挙げている受講生が多く、毎回コメントカードに意見を記す時間を設けたり、質問に答える時間を設けたりしたにも関わらず、積極的な参加をしなかった受講生が多かった点については改善を図りたい。

学科	観光文化学科
氏名	八木 康夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
健康科学実習Ⅱ	1・2・3・4	後期	選択	はい	13

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講者は、夏休み明け、後期末に体力測定および体組成(体脂肪量等)の測定を行ない、運動量と身体組成や健康度との関係を把握できるようにした。</p> <p>②各受講者は、学期始めに標的運動量を算定し、毎授業時にカロリーカウンターを装着させることによって自己の運動量を把握させ、運動意欲を喚起した。</p> <p>③1および2について毎時間記録と評価を行い、期末でそれらをまとめて実習期間全体の自己評価を行わせ、健康度と運動量、体組成の変容と運動量、身体運動能力の開発の程度と運動量の関係が理解できるように努めた。</p> <p>④Ⅱでは職場や地域で行われている個人またはペア種目であるラケットスポーツを導入した。</p> <p>自己の技能到達度の把握とそれに基づく技能獲得目標の設定、ルールや競技器具の正しい使い方と物理的性質の把握による種目の理解、ペア同士の個人的理解に基づく勝利を目指した積極的チームワークの形成を促した。その結果、参加態度は積極的行動に変わったと思われる。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	やや達成された			
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な成績の平均値は82点であった。全員が標準的レベルに達したが、理想的レベル(概ね80点以上として試験を作成)に達したものは16名と、欠席する者少なく全員が積極的に受講していたと考える。</p> <p>目標別に見ると、知識理解に関しては100%、思考判断に関する問題は100%の者が達成したと自己評価している。意欲関心も平均値は高く、次年度もさらなる積極性を生み出すよう考えたい。</p> <p>学生の自己評価の高さと評価とのギャップを埋めるべく、評価のポイントの提示を明確にしてゆきたい。</p>					
<p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「総合人間科目」であるが、必須科目に位置付けられ、初年度教育における友達づくりやストレス解放、健康づくりに最適である。また、生涯にわたる自己の健康管理をできるほどの運動の原理原則を実体験し修得する場として有用性を高めていきたい。学生は積極的に高い成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えられる。</p> <p>②DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から思考判断に関する達成度が比較的高く、カロリーカウンター装着による目標運動量の達成意欲、試合数と勝利数の記載、体力体型の縦断測定比較考察は方法的に成功しており、妥当性は高い。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

試合毎に、試合の内容の反省、チーム員の役割の適切さ、勝つための役割などについて短時間で話し合い、チームとして記録用紙にまとめた。その繰り返しは積極的な参加態度、リーダーシップを産み出し、集団の中の自分の役割を意識するよう促した。更に状況によっての言葉かけのタイミングを検討したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

授業目標への達成を受講者が評価しているが、さらなる学生の積極的な参加態度を産みだし、健康作りのための授業以外の運動習慣を促し、生涯スポーツを持てるような動機付けができるようにさらに改善したい。

学科	観光文化学科
氏名	河岸 重則

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
生活の中の化学	1・2・3・4	後期	選択	はい	24

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講生は高校時代に「化学」を履修した人が少なく、また「化学」に苦手意識を持っている人が多い。加えて、ほとんどの受講生が「単位確保」を目的としての履修のため、授業内容を易しくて、日常意識していないが注意してみると「化学」が生活の中にたくさん存在していることを理解し関心をもってもらうことを目的とした。</p> <p>②上記の目的のため講義内容をその時間内に理解することに重点をおいているので特に「予習・復習」を求めているわけではない。講義の開始には前回の内容の「キーワード」の復習から行なった。</p> <p>③数回、確認テストを行い、理解度のチェックを行なった。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された				
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>①試験を資料持込で行い、その資料を理解しているなら点数のとれる形式で行なった。平均点は77点であった。</p> <p>②身の廻りの化学から受講生おのおのが自分でレポートの課題を決定して提出させたが、全員きちんと仕上げていた</p>					
<p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「一般教養科目」であり、また選択科目、学科横断的科目である。試験の点数、レポート内容から、内容的に妥当であると考える。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学生の発言を引き出すような工夫を検討したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

一般教養としての化学の内容として特に問題はないと考える。化学は範囲が広いので、学生に意見を聞いて学生がさらに関心を持つような講義項目を加えるのも課題かもしれない。また、あまり勉強する気がなく、とにかく単位がとれればいい、という感じの学生をどう扱うかも課題である。

学科	観光文化学科
氏名	末廣 幸恵

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
生活と環境	1・2・3・4	後期	選択	はい	62

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①日々変化する環境問題や国際関係を取り上げるために、教科書は使用せず、適時レジュメと参考資料を配布した。②理解の難しい用語や組織、団体、事象に関しては新聞記事、インターネット、動画等を利用し、学生が取り組みやすいように工夫した。③レポート提出を課して、自分の足を使って調べる作業を通して、興味や関心が湧くように指導した。④重要な項目に関しては、授業内で学生同士で議論をさせ答えを導き出せるように指導した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された			

<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績の平均値は85点、再試対象者は3名であった。標準偏差値はSは31名、Aは13名、Bは7名、Cは6名、Dは3名であった。高得点者が全体の半数を占めたが、点数の低い学生も全体の1割強いた。これは授業で取り上げた環境問題や国際関係等に関心を示す学生とそうでない学生との結果が反映されたものと思われる。選択科目であったため、受講動機においても単位数の確保を目的とする学生が7割強、授業内容に関心をもち臨んだ学生は3割程度であった。また友人が履修しているも2割いた。この受講動機を反映するように、DPにおいても各項目について高い評価をする学生もいる一方、低い評価をする学生もいた。選択科目に関しては、学生の興味や関心が低いと結果も振るわない傾向が見られる。しかし大半の学生が「自分なりの目標の達成」「知識の確認、修正、新たに得る」「視点や考え方を得ることができた」「課題を検討する力」「的確に判断する力」「必要となる技術」等で概ね良好な評価を示した。これは授業で新聞、テレビ、インターネット等の多様なメディア教材を使い、学生の興味を促した結果と思われる。このDPの結果から選択科目が学生にとって新たな視点や考え方を養う良い機会と捉え、興味や関心を持つような工夫を授業に導入し、地道な指導を行うことが必要であると感じた。</p>
---	---

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CPカリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性: 観光学科のCPに明記されているように「知識と教養を培い、総合的・分析的視点で問題を捉える能力を伸ばす」「学びと現代社会・関係諸領域との関係を理解できるようにする」目的として、本科目は目的にかなった内容となっており、内容的に妥当性があると考えられる。②DP.行動目標からみた内容的妥当性: 授業内容から学生には現代社会の情報収集が要求されたために、DPの到達自己評価は概ね平均値を上回ってはいたが、数名の学生は低い評価をしていた。これは、クラスの約半数の学生がシラバスを参考にしていないことから判断すると、授業の主な目的や内容についての知識が無く受講したために、学生各人に興味のばらつきが生じた可能性があると考えられる。またシラバスには図書館、インターネット等を活用し、情報収集が必要であることを明記しているが、前年、これらを活用した学生が皆無であった。この点を改善するために、今年は試験とは別に図書館を活用する目的でレポートを課した。レポートには利用した図書館名を明記することを義務付け、徹底化を図った。またDPの「職業倫理」「職業選択の参考」では概ね平均以上の評価を示す学生が多く、観光学科の学生の学習ニーズにも適った内容となっていたと考えられる。全般的にクラスの雰囲気は良好で、真面目に学習に取り組んでいた。以上から内容的妥当性には問題がないと思われる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

①授業の質評価:「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が与えられていた」の評価は概ね高かったが、少数の学生が低く評価していた。大人数の授業にも関わらず、国内外の諸問題をグループで話し合い、発表するなど学生に参加する機会を務めて作った結果が数字に表れていると思われる。しかし大人数の中での学生の発表は声の大きさに左右され、一部の学生には聞き取りづらく、教員が復唱する結果となり、授業中での発表機会が少ないと感じた学生が一部いた可能性もある。②学習量の評価:授業に参加するための予習、復唱をしなかった学生が半数以上であることから、授業中での復習を兼ねた小テストやレポートの提出を検討している。③学修のための情報利用、図書館利用: シラバスを参考にした学生は約半数であり、選択科目として単位数を確保するためと答えた学生数とほぼ一致することから、本科目に対する関心と単位数の確保のための学生と二分された結果となった。オリエンテーションでの本科目の目的と内容に関する情報を的確に伝える必要性を強く感じた。図書館利用に関しては、昨年の利用者数が皆無であったことから、図書館利用を促す取り組みを行い、また国内外の事象を学習する観点から、メディア等を利用した情報収集が学習内容の一つであることを指導した。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

選択科目は単位数を確保する目的で受講する学生が多い中、本科目は受講動機で「関心のある内容である」「友人が履修している」を挙げている学生が少なからずいた。このことを踏まえて、学生の国内外の事象に対する関心の幅を広げ、これを深めるための良い機会と捉え、オリエンテーションで授業に関する情報を的確に伝え、情報の精査活用や図書館利用の強化を促したい。

学科	観光文化学科
氏名	花沢 明俊

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
情報科学演習Ⅱ	1・2・3・4	後期	選択	はい	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>高校までの学習状況で、パソコンの扱いに慣れていない学生とそうでない学生が混在しているため、課題を平易なものから高度なものまで段階的に用意し、高度な課題の一部は上級者のみを対象としたオプション扱いとした。15回の授業回数の中で、中間試験を含む第8回までは基礎技術の習得を行い、第9回以降はグループワークによる実践的な取り組みとすることで、学習意欲の継続と学習内容の定着に努めた。</p> <p>授業アンケートの受講動機では、「関心のある内容である」66.7%と高率であり、実際、個人差はあるものの全体的に経験値が高く、授業進行が容易であった。受講人数が少ないことから、そもそもパソコンの扱いが苦手な学生は履修せず、特に得意な学生だけが集まったという印象である。よって、もともと得意な学生の能力を伸ばす、という授業スタンスになったが、専門能力そのものではなく、その基盤となる技術習得を目指すという授業趣旨からは逸脱しているように感じる。受講動機の「教員に勧められた」が0%であり、学科での履修指導に期待する。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>成績点は、課題の提出やプレゼンテーションなどのプロセス評価50%と、中間・期末試験の点数による達成度評価50%から構成されているが、課題の提出率が非常に高く、目標達成のためのプロセス遂行が確実に行われた。結果として、試験の点数も全体的に良好であった。</p> <p>授業アンケートの到達度自己評価では、項目別の平均点分布は3.2～3.7点、全体の平均3.31点であり、前期の情報科学1よりポイントが低かったが、これは、達成度の高い学生と低い学生のばらつきが大きいことが原因である。ばらつきの大きな原因の一つは、出席率の高い学生と低い学生に2極化していたことが挙げられる。学習量の評価については、テキストによる予習を推奨したが、授業アンケートの結果から実際の予習回数は低率であった。予習とリンクした課題を設ける等の改善策を検討したい。授業外の課題を行っている学生は少ないが、これは授業の課題量が多く、一部は宿題となるため、授業外の課題を行う必要性は少ないと考えている。</p>					
<p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、全ての学科に存在する学科横断の科目であり、在学中のレポート作成や発表など様々な場面で必要となる。さらには、就職後の実務において、全学科の学生が要求される内容である。このような観点から、学生それぞれの学習準備性の高低にかかわらず、全員がある一定レベルの技術水準を達成すること、授業終了後も技術習得を継続できるよう、受動学習だけではなくグループワークによる能動学習を行うこと、これら2点を柱としている。授業の妥当性が真に問われるのは、3年生、4年生の実践の機会や、就職後であるが、このような将来の展望から必要性を理解した受講動機の割合は非常に高いものの、履修率が低いため、本科目の意義を理解している学生は、学科の全学生の1割程度と推測される。授業オリエンテーションなどを通じた履修率の改善を望む。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価は3.4～3.7、平均3.5であった。このポイントも前期の情報科学Iの平均4.0と比較して低下している。欠席率の高い学生に関して、講義前半での技術習得が不十分、講義後半のグループワークが機能しない、などの問題が生じていたことが原因と考えられる。
図書館利用で、「インターネットのホームページを検索し、利用した」について、授業時間に全員が検索を行っているはずであるが、利用したと回答している割合は50%程度であった。より明示的にネット資料の検索を指示したい。また、質問の分類名が「図書館利用」となっているが、ネット資料は図書館と関係なく紛らわしいので、分類名を「資料利用」としてほしい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

課題の提出率が非常に高かったことから、授業目標達成のためのプロセス遂行は、問題なく行われたと考えられる。また、結果として試験においても全体的に高得点であり、高い達成度が得られた。ただし、欠席率の高い学生については、前半での技術習得、後半のグループワークでの実践ともに不十分となった。段階的な技術習得のため、一度欠席すると、それ以降の内容全ての理解に支障をきたすため、欠席しないよう常に注意喚起していたが、より徹底したい。

学科	観光文化学科
氏名	金 銀英

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
韓国の社会と文化	1・2・3・4	後期	選択	はい	60

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考に記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>韓国の社会・文化全般にわたる概論としての授業であるため「現在の韓国」について取り上げた。学生の受講動機は「関心のある内容である」が最も多く、グループ発表を重視する評価をしているため、毎講義のテーマについて自発的に調べるように誘導した。これによって韓国に対する知識を培うことはもちろん、これから学生たちにあるであろうプレゼンテーション能力を養うことができたと思う。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された				
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>		<p>平均成績は67.86点であり、再試験に応じた学生の中から落第は一人もいなかった。また到達度自己評価の全項目にわたり平均値が学科平均より高い。さらに注目したい点は中央値が高いことである。概論の授業として「2.知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の中央値が「4」であることからしても所定の成果を得られたと思われる。</p>				

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラム上の位置付けからみでの内容の妥当性 多くの学生がシラバスを参考に受講を決め授業の質評価でも学科平均より高い回答が得られたことから、授業が当初の計画通り進み、学生たちの満足度が高かったことが分かる。</p> <p>②DP、行動目標からみでの内容の妥当性 「学習量の評価」の自由記述から予習や復習に時間を割くよりグループ発表での調べ物に注力していたことが分かる。シラバスに明記しているように「自発的な授業参加」ができたことが分かる。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題ないと思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られた」で3.2の評価を受けた。英語学科と共同授業であるため七十人前後と大人数での講義になる。そのため学生個人個人へのフォローができず、グループでの助言しかできない。
また学生同士の知識量の差があるため意見交換や討論が不可能な講義でもある。クラス分けなど少人数にしない限り無理だと思うが、この状況でも個人の意見や感想を交換できる方法を探りたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生からの「到達度自己評価」や「授業の質評価」で高い評価が得られたことから学生たちも満足できる講義内容と思われる。これからも「現在の韓国」への理解を深められるよう工夫を重ねていきたい。

学科	観光文化学科
氏名	福田 達也

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
日本国憲法	1・2・3・4	後期	選択	はい	30

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講生が板書をノートにきちんと書き留めるように、あえて配布資料・プリント等の厳選した。そのため、毎回のように講義に出席し、説明を漏らさずに聞いている学生と、講義中の説明等を聞いていなかったり、欠席が多い学生との間に、講義内容の理解に大きな差が生じたように感じた。以上により、学生の学習準備性については、講義の予習よりも毎回の授業の復習を行うという傾向が強いのではないかと推断する。受講動機については、6割近くの学生が単位数の確保のためと回答しており、今後は履修した上で日本国憲法に興味を持ってもらえるよう工夫を施していきたい。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	どちらともいえない	やや達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>試験の成績については、全体として高得点者が多く、上記の目標はほぼ達成できていると思われる。しかし、学生による授業評価によると、到達度自己評価の全ての項目において、多くの学生が③の「まあまあそうだと思う」および④の「わりにそうだと思う」を選択しており、試験の成績とは別に学生の授業内容の理解に努力が必要であると感じた。学習量の評価については、0時間と回答する学生が多いので、今後は授業時間内だけでなく授業時間外学習をしなければならないよう工夫を施していきたい。さらに、授業時間外学習時間が少ないことと併せて、図書館やインターネットの活用についても、利用していないと回答する学生がほとんどであったので、上と同様に今後の課題としたい。併せて、自由記述欄で、「講義内で理解」との記述があったので、喜ばしい反面、講義外での学習により理解を深められるよう工夫を施す必要があると感じた。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性については、ほぼ問題ないと思われる。日本国憲法は基本的には、まずは制度の内容や基礎理論の理解が重要であり、知識・理解の面が極めて重要であると考えられるためである。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の進行方法については、現在のところは変更を検討していない。上記3においても触れているが、毎回授業の概要を示したプリントの配布をすることの意義については理解しているが、これにより授業の際の説明を不十分に聞いてしまう学生が発生するのではないかと危惧している。板書による講義スタイルを採用しているが、板書だけでなく、説明を聞いていないければ内容の理解に至らないようには工夫している。受講生自身が、板書の文字だけでなく、補足説明を聞きながらそれぞれのノートテイキングを行い、理解を深められるようさらなる工夫を考えたい。講義中における概要プリントがない分、毎回の授業の説明をきちんと聞いておかなければならないという意識を学生に持ってもらえたらと考えている。現在のところは、試験の全体的な成績を見てもわかるように、このスタイルである程度は理解が高まっているので、今後、全体的な成績がさがらうであれば、概要プリントの配布も検討していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

上記4においても触れているが、学生の授業時間外学習をいかに確保するかが今後の最重要課題と認識している。適宜、課題を課す等、積極的に取り組んでいきたい。やる気が出なかったとの自由記述もあったので、如何に学生に興味を持って学習に取り組んでもらえるか検討したい。

学科	観光文化学科
氏名	麻生 恵美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
フランス語Ⅱ	1・2・3・4	後期	選択	はい	3

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>前期「フランス語1」を履修したのちに受講するよう勧めたところ、登録した全員が前期からの継続受講だった。受講動機は「関心のある内容である」が100%であり、半期だけでは足りないという学習意欲が感じられた。その他の志望動機は「単位数を確保する」50%だった。初回授業のオリエンテーションでは、DPによる評価方法を配点も含めて改めて提示し、授業に臨む心構えをするよう促した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
		達成された	達成された			

<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>出席した2名中、最終的な成績の平均値は81点(±16点)であり、再試対象は0名だった。両名とも標準的レベルに達し、理想的レベルの80点以上に達したのは1名(A評価)であった。到達度自己評価を目標別に見ると、「まあ達成できた」～「大いに達成できた」と回答したのは、DP1「知識・理解」、DP5「技能・表現」とも100%という結果だった。</p> <p>学習量の面では、1回30分程度以上の予習・復習を週に1回以上行ったのは2名中1名であった。小テストや課題提出などを繰り返したことで、語学は毎日の積み重ねだとの自覚を促してきた。しかし自由記述によれば「時間がない」とあり、学習時間の確保が難しい学生もいたようだった。</p>
---	--

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみても内容的妥当性 本科目はカリキュラムマップ上の「総合人間科学」の「国際社会と現代」であり、総合人間科学のCP「知識と教養を培い、総合的・分析的視点で問題を捉える能力を伸ばす科目」という観点に相違なく、学生は一定の成績を収めていることから、内容として妥当であると考えられる。</p> <p>②DP、行動目標からみても内容的妥当性 DPの観点では、全般的評価に当たる「自分なりの目標を達成した」の質問に「まあ達成できた」～「大いに達成できた」と回答したのは100%であることから、内容として妥当であると考えられる。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性に問題はないと思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、おおむねどの項目も評価は高かった(平均値は4.0から4.5)。グループやペアで話し合っ答えを導く協同学習を主体としていたことや、具体的な目標設定(「近い未来について話す」など)に向けて毎回の授業を進めたことが、評価の高さにつながっているものと思われる。
インターネット利用について、教科書の各課の映像がWEBで公開されており、授業後に再視聴して復習するように促したが、実際に利用したのは1割以下だった。また授業の課題以外に学習に取り組んだのは50%であった。次年度に向けて、より効果的な教科書の選定を行い、自習に効果的な参考書やサイト、フランスに関する図書の紹介に努めたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

総合人間科学のCPIに合致する協同学習の結果、高い自己評価が得られ、一定の成績を残すことができた。少人数授業の特性を活かし、1人ひとりの問題に対応しつつ、今後も先生が一方的に「教える」のではなく、学生同士で「教え合う」授業スタイルを徹底させていくことが望ましい。また志望動機の調査で表れた「関心の高さ」を、半期を通して、その先もいかに持続させていくかにも留意したい。そのために授業外でもっとフランス語に触れられるよう、魅力的なコンテンツを利用させるなど、教科書だけにとどまらない学習方法を提示していきたい。

学科	観光文化学科
氏名	金 銀英

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ハンゲルⅡ	1・2・3・4	後期	選択	はい	18

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>初級レベルの語学力をつけるのがこの講義の目標であり、前期の「ハンゲル1」に引き続き受講する学生がほとんどであるため授業動機が「関心がある内容のため」が最も多いのも頷ける。</p> <p>また講義内容の節目に小テストを実施することにより学生に学習状況を認識するようにした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された				達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>平均成績は73点であり、再試験に応じた学生の中から落第は一人もいなかった。</p> <p>また到達度自己評価の全項目にわたり平均値が学科平均より高い。また「2.知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の中央値が「4」であることからして所定の成果を得られたと思われる。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラム上の位置づけからみても内容の妥当性 多くの学生がシラバスを参考に受講を決め授業の質評価でも学科平均より高い回答が得られたことから、授業が当初の計画通り進み、学生たちの満足度が高かったことが分かる。</p> <p>②DP、行動目標からみても内容の妥当性 学習量評価をよると、教材を用いた予習・復習には時間を割けなかったが、自由記述(4)「授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習」によると、自分が興味のあるもの、例えばK-popで韓国語の発音練習をしたり、動画を見て聞き取りをしたりと多様な取り組みをしていたことが分かる。シラバスに明記しているように「積極的な姿勢での授業参加」ができたことが分かる。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題ないと思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、全項目において高い評価を得られていることから授業進行に問題がなかったと思われる。学習量でも各自好きな方法で学習を進めているので問題ないと思われる。これからも学生たちが積極的に学習できる素材を紹介しようと思う。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生からの「到達度自己評価」や「授業の質評価」で高い評価が得られたことから学生たちも満足できる講義内容と思われる。これからも韓国語と韓国の文化、さらに異文化への理解を深められるよう工夫を重ねていきたい。

学科	観光文化学科
氏名	篠原 征子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
中国語Ⅱ(Aクラス)	1・2	後期	選択	いいえ	15

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は中国語の基礎知識を学習するものである。中国語Ⅰで習った知識を復習しながら、会話練習、作文練習を通して、学習者に分かった、できた、通じたという喜びを感じさせ、中国語を話せる自信を付けていくことが、授業の実施にあたりもっとも大切だと考えた。今回の受講動機を見ると「関心のある内容である」が50%で、そのほか「単位数を確保する」75%であったが、到達度自己評価の(8)コミュニケーション力や表現力を高めることができた項目では平均値が4.0であった。この授業は成果があったと言える。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
		やや達成された	やや達成された			
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は81点であり、再試対象は0名であった。全員が標準レベルに達し、理想的なレベル(おおむね85点以上として試験を作成)に達した学生は3名と、まだまだ限られていた。</p> <p>学生による到達度自己評価において、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均値は3.8で、中央値は4.0で、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の平均値は4.3、中央値は4.0であったことから、おおむね教育目標達成したと言える。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容の妥当性 本科目は「総合人間科学」に属する選択科目であるが、観光文化学科の「専門教育科目—中国語通訳ガイド演習や観光中国語など」の基礎となる重要な位置にある。しかし、受講者は「中国語通訳ガイド演習」や「観光中国語」を受講するつもりのある学生ばかりではない。受講動機は主に「関心のある内容である」であったので(73.8%)、中国語、日本語、英語を比較しながら、授業を進めるように工夫し、学生も一定の成績を収めていることから、内容的に妥当であると考えられる。</p> <p>②DP、行動目標からみでの内容的妥当性 「成績評価」と「学習到達度自己評価」などの平均値から見て、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価を見ると(2)(3)(4)の中央値は4.5で、(5)は4.0であることから、大多数の学生は授業の趣旨を理解し、授業の進め方を肯定し、真剣に取り込んだ。授業内容や進み方は学生に適していると考えます。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

「総合人間科学」の一科目として、それから「専門教育科目—中国語通訳ガイド演習及び観光中国語」を受講するに必要な予備知識としての本科目の位置づけから、基礎知識の形成についてはおおむね達成できた。
授業以外の学習方法の指導、とくに図書館の利用に関しての不足点は来年度に改善を行いたい。

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
現代日本事情	2・3・4	後期	選択	いいえ	26

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>観光文化学科の中では、ビジネスでも観光でもない一般社会常識にあたる科目であり、学生もそれを意識しているようである。そこで学生の希望にあわせて、就職活動で役立つ社会常識を丁寧に教えた。それは評価されたようである。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された			
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	「未履修」を除いた半数にあたる受講生が「秀」で、それ以外も1人を除いて「優」であった。理解度は極めて高かった。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>科目の内容が、時事に関するが主であり、「意欲・関心」についても考慮したDPであった方が望ましいと感じた。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

昨年度で終了した科目であり、改善できないのが残念である。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

初めて担当した科目であったにもかかわらず、学生の理解度は高く、授業態度も極めて良好であった。昨年度で終了した科目であり、この科目についての課題はない。

学科	観光文化学科
氏名	若菜 啓孝

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
コンピュータ文書Ⅱ	2・3・4	後期	選択	いいえ	13

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>この科目は、情報関連科目(例えば、情報リテラシー、コンピュータ文書Ⅰなど)の最終的な位置づけと考え、社会にでて必要となる可能性の高い「データベース」の考え方、ソフトウェアの具体的操作など、知識理解、技能表現の観点に焦点をあて授業を展開した。</p> <p>①この授業では、e-learningシステムを起ち上げ、授業資料の提示、課題の回収、振り返りシートの回収などを行った。また、手元資料に関しても配布した。</p> <p>②少人数であったため、直接授業の感想など聞くように努めた。</p> <p>③前年度の反省をもとに、到達レベルを少し低くした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成されなかった	やや達成されなかった				やや達成されなかった
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>昨年度に比べ、到達レベルを低くしたにも関わらず平均点は70点程度である。特に、Accessに関して、理解できた学生は3名ほどとなっている。このソフトウェアは、自分自身が保有するPCには入っていないため、実習室での復習が必須となるができていない状態となっている。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目はDP、CPの観点から考えると、ひとつの資格取得という面で内容的な妥当性とはあまり関係なし→次年度から開講されない</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

①本科目を進めていく場合には、学生の技能に対し前提条件を課すべきだと思われる。

②資格取得のための科目であるにも関わらず、学生らの資格に対する貪欲さが足りないと思われる。

上記がクリアされた場合において、授業がスムーズに進行したと思われ、一般的な学生に対しては、授業進行が早かった面を感じる。その補間としては、課題をこなすこともひとつの方法であるが、課題提出数が少なかったことが反省点としてあげられる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

4-(1)に示したように、達成状況としては芳しいとは言えない。少人数であることもあり、できるだけ学生のペースに合わせていったが、授業内だけの操作だけでは技能は身につけていけない。より多くの演習、課題を繰り返す必要がある。

学科	観光文化学科
氏名	木沢 誠名

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
観光関連法規	2・3	後期	選択	いいえ	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>「観光関連法規」という分類はもとよりの。「観光基本法」「観光立国推進基本法」を基本法とし、「旅行業法」「旅館業法」などの「事業法」体系、「旅行業務取扱管理者」「通訳ガイド案内士」などの「資格法」体系、そして「国際観光ホテル整備法」「観光圏整備法」などの「整備法」体系からなる。それらを体型立てて個別法を講義するのであるが、法律は難解であるため、事例を探してそこに落としこむ形式とした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	どちらともいえない	どちらともいえない				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>法律は難解であるため、各個別法はその趣旨程度にとどめ、事例を取り上げて講義を行った。毎回、授業のコメントを書かせて提出させているが、これによると、学生が興味を示す法規とそうでないものが2極化していることがわかる。景品表示法(不当表示防止法)など生活に密着した法律の事例にはおおいに興味を示す一方で、観光圏整備法など生活とかけ離れた政策法規には、あまり興味を示さない。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、私の着任前にシラバス化された旧カリキュラム科目であるが、前任者はシラバスとは異なる国家試験対策として講義を行っていた。「旅行業務取扱管理者」の2つの法規分野の対策授業である。それを、着任後に本来の観光関連法規に仕立ててきた。本年度が最終年度となる。なお、新カリキュラムにも同じ科目名があるが、こちらは内容に合わせて国家試験対策としている。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

前項通り

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

前項通り。旧カリキュラムの最終年度で、次年度からはなくなる。

学科	観光文化学科
氏名	川上 耕平

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
現代国際事情	2・3・4	後期	選択	いいえ	18

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考に記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①この講義は、タイトルどおり、現代の国際社会で起きている問題を理解することを目的にしており、地域別およびテーマ別に理解することに重点を置いた。3年生以上が対象であるが、私が昨年担当した「国際社会論」の講義を受けた3年生が、4年生になってさらに理解を深めるために受講するケースが少なからず見られた。</p> <p>②「学修準備性」という点に関しては、今年度初めて担当する講義であったので、教科書を指定していないため、予習をすることが難しい科目であったかもしれないが、事前にレジュメを配った場合には、それを前もって読んできてもらうようにし、小テストを行って、この講義に予習が必要であることを示した。ただ、「外書講読」など事前の予習が重要な科目とは違って、予習よりも復習のほうに重要性がある講義というものが、いつの時代にも大学にはあり、本講義がそれに該当することを講義の冒頭で強調した。</p> <p>④今年度初めて担当する講義であったので、昨年度と比べての改善点というのは示すことができないが、来年度担当させていただく「国際関係入門」で改善点を引き継ぐつもりである。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	達成された		やや達成された	

(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。

* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。

<授業評価の指標>
「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など

最終的な期末試験の平均は85.3点であり、18名中17名が80点を超える水準に達していたため、DP1については、「達成された」を選択した。目標別に見ると、この講義は、観光文化学科などの学生が、他講義を聴く際に必要な学際的知識、あるいは社会に出て観光に関する職業に就いた際の一般常識を提供することにあり、採点した試験の点を見ても、「知識理解 (DP1)」という点は達成されていると考えている。学生による授業評価においては、知識理解についての満足度を示すようなコメントがもっとみられればよかったのではないかと反省する部分はあるが、もう少し学生の関心を喚起するような視聴覚資料などを利用するなどしたほうがよかったのかもしれない。

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①カリキュラムマップ上の位置づけからみての内容的妥当性 本科目は、3年生以上が履修する「専門科目」であり、観光を学ぶ学生にとっては、当然、国際政治的知識は不可欠のものであるが、外国語を読む講義にとっても必要な知識を提供している(その意味では、学科横断的な履修も可能であればよいのではと思うところがありますが…)。なぜなら、外国語は文法や単語を詰め込んだだけでは解釈することはできず、多岐にわたる分野についてそれなりに知識をもっていないと、外国語に対する能力は向上しないからだ。今回のカリキュラム改訂で「国際関係入門」という講義が開講されているのは、そうした事情を外国語を教授されている先生方が理解されていることの証左であると考えている。</p> <p>②DP、行動目標からみての内容的妥当性 成績を見る限りでは、DP1-1つまり知識理解は、それなりに達成されていると考えられる。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性については、問題ないと考えている。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が設けられていた」の平均が低かったが、この授業は講義形式であり、上記の目的は、専任教員が開講している演習科目がその任を果たし、もっぱら基礎知識の教授に重点を置いた。ただ、受講生の人数が18名ということもあるので、毎回の講義で、講師が発問し、受講者が答えるというスタイルはできるだけ維持した。その場合の発問も、「知っているか、知らないか」という知識の有無の確認ではなく、近年の歴史学で言われ始めている「反実仮想 counter factual」の手法を用いた。これは、「では、もし実際に●●でなかったら、どういう結果が起きると思うか」と問うことによって、知識を総動員させ、単なる空想にとどまらない、歴史の推移を推測するものであるが、残念ながら、この方法に基づいた講師と学生の対話がうまくいったとは言いがたいといえよう。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

国際関係を理解する上での基礎知識の教授という点では、目的は達成されたと思われるが、受講者参加型というかたちの講義は、やはり専任教員の少人数による演習にゆだねられるべきであり、限られた時間の中では、そうした役割分担が必要であると考えている。
また、実際に講義を行ってみると、社会科学系の科目を履修したことがない学生も多く、入念な導入的説明が必要となった。それはときに中学校の知識の確認にまでさかのぼることもあったため、シラバスどおりのスケジュールを消化できない場合もあったが、学生がわからないまま一方的に進めることは、その後の講義の進捗にも大きく影響するため、受講者のレベルにあわせることに意を尽くした。
来年度からは、「現代国際事情」は開講されないため、この講義で必須知識として展開した内容は、来年度の「国際関係入門」に発展的に引き継がせていくことを考えている。

学科	観光文化学科
氏名	須藤 秀夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
多国籍企業論	3・4	後期	選択	はい	52

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	大切にしていることは次の点である。即ち、多国籍企業の世界各地での活動が及ぼすメリット、デメリット(問題点)などの学びを通して、現代世界の経済、社会の諸問題に学生が視野・関心を広げ理解を深めること、および、成功例や失敗例の学びを通して、企業の商品・サービスが顧客にとってどのように役立つかという視点が大事であることを学生が理解すること。これらは、学生の就職活動に役立つと学生が気づくことも期待したいところである。受講動機として、「関心のある内容である」が31.6%であり、太宗は「単位数を確保する」などであることを踏まえ、また多国籍企業の例をあまり知らない学生が少なくないことが学生の準備性としてうかがえたので、ディズニー、スターバックスなど学生にとって馴染みのある多国籍企業を事例として採り上げることを計画した。
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された		
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	「自分なりの目標を達成した」3.1、「知識を新たに確認…新たに得ることができた」3.2、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」並びに「自分が学ぼうとしている専門分野において的確に判断する力を得ることができた」など3.0、「自分が学ぼうとする専門分野について学びを深めたいと意欲をもつことができた」3.0、以上から、「やや達成」と言える。また、期末試験の平均点、78.6、総合点の平均79.6であったことから、「やや達成」と考える。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	観光文化学科のDPにある「現代社会の実態を学際的な視点でとらえ、問題解決に必要な思考力を修得」、「…ビジネスの実務で必要とされる幅広い知識…を身につけ」、「国際的視野に立った思考力を発揮」に本科目は寄与できると考える。また、上記4の学生の考え方や成績から、「就職活動で役立つような内容ばかりだったので、興味をもって聞くことができました」との学生の声などから、内容はほぼ妥当と考える。
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

進め方については、教材や資料などが何を伝えたいのかをもう少し明示していきたい。例えば、この新聞記事は授業で扱ったどの事項に関連しているか、この記事から何を読み取ってほしいか、などをさらに明示していきたい。教材の中のキーワードを穴埋めの形で学生に記させること、図での説明を心掛けること、学生からの質問票に丁寧に答えることは、学生の学習意欲・関心の向上のために、続けていきたい。学生に自分が選んだ多国籍企業3社について調べさせる課題は、就職活動に役立つといった意味を学生も感じているので、今後も続けたい。なお、学生からの意見について、授業中に回収する出席票(兼)質問・感想票に時々注文・要望が記されており、次の回の授業中に逐一コメントしているので、ここでの記載は省略したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

もっと達成状況を向上させる一つの方法は、学生が主体的に作業する課題などを追加して提示することかもしれないが、履修学生数の上での制約などから難しいところである。大多数の学生の興味・関心をいかに高めていくかについては、例えば、身近な企業(スターバックス、ディズニー等)の事例を深掘りすることなど、検討したい。

学科	観光文化学科
氏名	松田 千恵子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
エアライン英語	3・4	後期	選択	いいえ	3

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>5時限目で冬場に向かってクラス全体が寂しく暗くなりがちですので 出来る限り 明るく大きな声を出して 英語を表現してもらおうように努める。英語表現に慣れるため What's new? という項目を設けて 英語を喋ってもらう。エアラインの試験では必須の機内放送を繰り返し練習する。この数年エアライン業界が新規募集をしていないためか、エアライン入社希望者がいなくて別の業種に就職希望をしている生徒ばかりなのでモチベーションを上げるのに大変苦心した。エアラインだけでなく他業種の入社試験にも役にたつような 英語 例えばTOIC(既出問題を中心)を準備。エアラインなので 地理を或る程度頭に入れる必要があると考えて 地図や時差表等を準備してその読み方を練習。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された					達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>受講学生数が3名と少数なので テンションを上げて授業を進めるのが難しかったが。 声を出しての練習をクリスマス時期には英語のクリスマスソング等を使って 大きな声で英語を喋れる事に重点を置いて繰り返し 機内放送や 英文の自己紹介文の作成指導をした。出来上がったものを声に出して 実際の面接形式で発表してもらった。その結果最初のころに比べて発音発声がかなり改善されて 生徒たちも自信を持ったようだ。就職活動に備えて英文の自己紹介文を添削することで 生徒の目標や監視等を知る事が出来て授業の進め方にプラスとなった。本当に少人数だったので 独り一人個別に丁寧な指導が出来て良かった一方、大人しい生徒ばかりで クラスを明るく盛り上げるのには 苦労した。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>10月と12月に授業の内容を理解しているかを知るために 小テストを二回実施した。TOIC問題の小テストと自己紹介文の構成の仕方を指導して 自己紹介文のワークシートを作成させ それを基に何度も発表する練習をした。最終日の15コマ目に最後の期末筆記試験を実施 その平均値は 84% で 再試験対象者も0名で 3名とも 欠席数も非常に少なく エアラインの為の英語の知識理解度は達成されたと考える。面接のシミュレーションでは 過去問題や出題頻度の高い質問等を数項目加えて英語での仮想面接をした。何度も練習した成果が出て、落ち着いて自信もついて態度もはきはきしてよかった。実技のテストは発音表現力態度等総合して 筆記試験点数を高く取れなかったがそれでも 70%以上には達していたと思う。生徒は3名ともエアライン就職希望ではない為か 取り組む意欲にはやや欠けてた。それでも3名とも対面の能力の高い生徒たちでしたので、私は指導が楽でした。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

3名の受講生全員エアライン就職希望ではなかったのでエアラインに対する関心は低かったけれど、実技や実例を出来るだけ多く取り入れて参加型の授業にした。全員協力的で楽しんでやっていた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

総合的に見て 小テスト二回 機内放送 自己紹介文 仮面面接試験 What's new? の発表 期末筆記試験等を通じて授業の目標は達成されると評価する。少人数の講座でしたから授業中生徒と密接に話し合う機会も多く中身の濃い授業にだったとおもう。来年度はエアライン入社希望の受講生が何人かいる事を心から願っております。

学科	観光文化学科
氏名	石田 もとな

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
エアライン英語	3・4	後期	選択	はい	48

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講対象者が3, 4年生の希望者ということもあり、授業準備に関しては意図的に具体的な指示は行わなかったが、半数以上の学生が、何らかの準備に時間を費やし、復習にも時間を取っていたことは評価に値するものと考えている。航空機の中でのサービスに使う表現を学習した際は、「今度飛行機に乗った時は、注意してアナウンスを聞くように」と指示したが、それに関して実際に飛行機を利用した際に確認をし、報告を実施してくれる学生が多かったことも評価できると考えている。授業で学んだものをその後使ったり、耳にしたりすることで知識が定着すると考えているので、今後は予習と授業、その後の復習による知識の定着を目指したい。受講動機で最も多かったものは「関心のある内容だから」というもので選択率は73. 8%であった。「好きな先生が担当しているから」というものもあり、学生の期待に添うような航空業界の仕事についての理解も進む「エアライン英語」の授業を行えるよう、自らが実際に使っていた表現等をプリントにまとめ配布している。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された					やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>選択科目であったため、意欲関心が高く取り組みも積極的であった。全員が期末テストで優以上の評価を得たことも評価できると考えられる。全体的には、エアラインで使う英語に関する知識が増え目標を達成することができたと考えられるが、エアライン業界志望者とそれ以外の学生には温度差があり、その後機内でアナウンス等に耳を傾ける学生とそうでない学生の技能表現の力にも差が出ていると考えられる。</p>					
<p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>DP5に位置付けられているが、教員自身の感覚では、DP1(知識理解).DP3(意欲関心).DP4(態度)の要素も大きかったと感じている。興味のある学生だけが選択する科目であり、意欲関心は高いと感じた。DP5のみでなく、DP3.DP4の両方、またはそのどちらかに該当すると考える方が妥当ではないかと考えられる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

受講人数が年度によって違うが、(過去には70名以上)できるだけ全員が英語を口にする機会を授業の中で儲けたい。アナウンス等も実技テストを行っているが、ロールプレイなども取り入れて少しでも知識が能力に変わるような授業を展開していきたいと考えている。学習量の評価において(授業の課題以外に学習に取り組んでいない理由)に【授業内にすませた】【授業以外必要ないと思った】と回答した学生に関しては、サービス接遇英語の有用性について認識し、アルバイト等の中で使って復習にできるようなアドバイスをしていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生側も、教員側も熱意を持って取り組めたことは、非常によかったと考えている。個人的には『エアライン英語』は、最も自身の経歴、経験、知識を生かした授業ができる科目であることを認識し、今後においても、エアライン経験者にしかできない授業を展開していきたい。実技を増やし、身につくことを課題にしていきたいと考えている。

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
映画で学ぶ英米文化	3・4	後期	選択	いいえ	64

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学科の名前が観光文化であるにもかかわらず、文化関連の科目が少ないため、この科目を通して、集中的に文化を学習できるように心がけた。科目で学ぶことを系統だてて理解できるように他の科目で学ぶことなどを参照しながら、有機的な指導を行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された			達成された		
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	64名中で「不可」の評価は4名のみであった。受講生数は多かったにもかかわらず、授業時には受講生の受講態度はとても良く、注意をする必要は全くなかった。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>英米文化については他の科目で補うことのできない内容であるため、学生は十分な知識を持つことができないのが現状である。そのためDPにおいては「知識理解」を加えるべきであった。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

比較的難しいテーマを前半に置いたため、当初の説明で学生の理解がスムーズではなかったように思われる。テーマが平易になると学生の理解も高まった。今後は、難易度の低いテーマから取り組むようにしたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

ほとんどの受講生が単位を取得できたが、自分が担当する他の科目のように、高得点ではなかった。大いに反省をしている。もっと丁寧な説明をするように意識したいと思った。

学科	観光文化学科
氏名	岩井 朝子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
英語通訳ガイド演習Ⅱ	3・4	後期	選択	いいえ	17

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①学生と聴講生の学力・意欲に差があるので、どこに基準を置くに苦労した。授業の内容を難しくした結果、到達度自己評価が低くなっていると思う。</p> <p>②受講動機は、単位数確保が81%とあり、科目への関心の低さが窺える。(関心のある内容と答えた学生は45.5%で約半数)</p> <p>③自由記述に「課題でいっぱいだった」とあるように、学生には難しい授業だったと思う。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	どちらともいえない			どちらともいえない		
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>DP(1)の平均が3.0であるから。自主的に、日本文化に興味を持って、ネットや図書・雑誌を利用して知識を増やすことが求められているのに、実際に行動をおこした学生は少ないようだから。(ネットでの検索1人のみ、授業の課題以外の学習に取り組んだ者0人)</p>					
<p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>内容的には、もう少し基本的なものにするべきだと思うが、聴講生も多く聴講しているので、より具体的で実践的な内容になり、関心の薄い学生には、授業についてくのが大変だったと思う。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学生になるべく発言させる場を与えて、意欲を喚起していきたい。授業の改善には双方の努力が不可欠なので、学生側も、受け身にならず積極的に発言、発表してもらいたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生だけのクラスであれば、じっくり基本的な内容を教えることができると思う。本来なら社会人との混合クラスで、お互いに学び合い、それぞれの良いところを伸ばすしていく形が理想だが、その点が、あまりうまく行かなかったように思う。

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
中国語通訳ガイド演習Ⅱ	3・4	後期	選択	いいえ	5

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>専門展開科目にあたる中国語通訳ガイド演習Ⅱは観光文化学科における教育の骨格となる分野の修得を深める科目である。中国語通訳ガイドの能力の養成に重点を置く。具体的には中国語通訳の基本的技術を学習した上に、基礎的な理解能力、表現能力、翻訳技能などの養成に工夫を凝らした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された		達成された	達成された	達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は80点であり、再試対象は0名であった。全員が標準的レベルに達したが、理想的レベルに達したのは5/1しかなかった。学習による学習量及び授業評価においては、①授業の課題以外に学習していない理由としては、必要性を感じなかった。②「授業中に自分の意見を纏める、話し合う発表するなど、学生が参加する機会が作られていた。」の平均4、0と高かった。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについて、マップの位置付けから見て、本科目は専門展開科目であり、中国語の通訳案内士などの資格試験に対応する科目である。学習者の総合的な視野と専門分野の理解に応えるから、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた。」の平均4.0と、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」の平均3.6となった。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

専門展開科目にあたる本科目の位置づけから、基礎的知識の形成については概ね達成できたが、表現技術の面では、課題を残した。じっくり復習時間が少なかつたため、復習課題の提示などで改善を図りたい。

学科	観光文化学科
氏名	篠原 征子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
中国語通訳ガイド演習Ⅱ	3・4	後期	選択	いいえ	5

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は中国語通訳ガイド演習で、実際中国語を使ってガイドすることを練習するものである。案内したい景観を選んで、その概況、歴史、楽しみ方などを中国語で紹介したり、買い物案内、食事案内、病気など緊急事態の対処などを練習することを通して、学習者に分かった、できた、通じたという喜びを感じさせ、中国語を話せる自信を付けていくことが、授業の実施にあたりもっとも大切だと考えた。今回の受講動機を見ると「関心のある内容である」が50%で、そのほか「単位数を確保する」75%であったが、到達度自己評価の(8)コミュニケーション力や表現力を高めることができた項目では平均値が4.0であった。この授業は成果があったと言える。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された		やや達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は81点であり、再試対象は0名であった。全員が標準レベルに達し、理想的なレベル(おおむね85点以上として試験を作成)に達した学生は3名と、まだまだ限られていた。</p> <p>学生による到達度自己評価において、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均値は3.8で、中央値は4.0で、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の平均値は4.3、中央値は4.0であったことから、おおむね教育目標達成したと言える。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容の妥当性 本科目は観光文化学科の「専門教育科目」という重要な位置にある。受講者に中国語を話せるだけでなく、中国の文化、風習、中国式の考え方も把握してもらう必要があった。日本と比較しながら、学生が理解しやすいように授業を工夫した。また、学生も一定の成績を収めていることから、内容的に妥当であると考えられる。</p> <p>②DP、行動目標からみでの内容的妥当性 「成績評価」と「学習到達度自己評価」などの平均値から見て、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価を見ると(2)(3)(4)の中央値は4.5で、(5)は4.0であることから、大多数の学生は授業の趣旨を理解し、授業の進め方を肯定し、真剣に取り込んだ。授業内容や進み方は学生に適していると考えます。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

「専門教育科目」の位置づけから、中国語通訳ガイドの技能を鍛えることについてはおおむね達成できた。
授業以外の学習方法の指導、とくに図書館の利用に関しての不足点は来年度に改善を行いたい。

学科	観光文化
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
中国語通訳ガイド演習Ⅳ	4	前期	選択	いいえ	10

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>1. 受講動機をみると「関心のある内容である」66.7%、「単位数を確保する」33.3%となっております。履修者が「中国語通訳ガイド演習Ⅳ」では、今まで取得した中国語を活かしてもっと勉強したいという気持ちが見られる。学生のその気持ちを大事にして、良い授業になるように工夫したいと思う。</p> <p>②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。</p> <p>③授業中に翻訳と発表を行い、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された		達成された	やや達成された	やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な成績の平均値は91.2点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的レベルに達したと思われる。</p> <p>目標別に見ると、知識理解、意欲関心、技能表現、態度に関しては、90%であり、それぞれの目標がやや達成されたことを示している。</p> <p>学生による授業評価においては、知識理解、意欲関心、技術表現、態度の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。</p> <p>図書館、インターネットの利用に関しては、前者は、20%以上で、後者は50%となっているが、図書館やインターネットの利用については、さらに指導することを考えている。</p>					
<p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から知識理解、意欲関心、技術表現、態度に関する達成度がある程度のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「中国語通訳ガイド演習Ⅳ」であるが、「海外研修」や就職をつなぐ要の位置にあり。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考える。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、各項目については、評価が良かった。特に「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の評価は良かった。次年度に向けては、学生がもっと積極的に参加できる機会・環境を作っていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

「海外研修」や就職をつなぐ要の位置にあるとの位置づけから、基礎的知識の形成については概ね達成できたが、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。

また、学生の知識理解、意欲関心、技術表現の力を高めるために、授業中に課題を行う時間を増やすようにしたい。

学科	観光文化学科
氏名	須藤 秀夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ビジネスファイナンス	3・4	後期	選択	はい	61

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>重視していることは、企業の決算書を読めるようになること、種々の数字の扱い(外為損益、債券の利回り、EXCELを使つての業績の将来計画など)に学生が慣れることである。そうした知識、能力は就職活動で、また社会人になってから必ず役立つからである。開講時の学生の学習準備性として、ほとんどの学生がおカネ回りの事前の知識をあまりもっていないので、基礎知識の伝授(例えば、元本と金利、ドル高円安・ドル安円高、借入と株式発行など)を計画した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成されなかった	やや達成された	やや達成されなかった		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>全体については、「自分なりの目標を達成した」2.8から、「やや達成しなかった」と思う。成績があまり芳しくないことから、そう言える。即ち、期末試験平均66.2(n=60)(85点以上1名のみ、最高点89.5)、総合点69.7であり、前年度における期末平均75.6(N=19)、総合点83.1と対比しても芳しくない。「知識理解」については、「知識を確認…新たに得ることができた」3.1から「やや達成」と考える。「判断する力を得ること」2.9から「思考判断」について「やや達成されなかった」と考える。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>観光文化学科DPの中の「現代社会の実態を学際的な視点でとらえ、問題解決に必要な思考力を修得」、「ツーリズムとビジネスの実務で必要とされる幅広い知識…を身につけ」に本科目は数字面の学び等から寄与すると考える。内容的には、今年度の不成績はあるものの、基本的知識を扱うものであるため、今後とも続けていきたいと考える。が、一部(投資の可否等やや高度のもの)は削除することを考えたい。なお、DP3の「意欲・関心」につながるものもあるため、今後DP3をも含めることにしたい。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

「全くそうでないと思う」が遺憾ながら各項目に数人おり、また成績が不振であったことから、理解度が十分でなかったと思うので、進め方は改善したい。質問票での丁寧な回答などは心がけたが、質問票に書かないまま、理解できずに学期を過ごした学生が少なからずいるので、(履修学生が多いと困難な部分もあるが)小テストを行うなどして、理解の把握と学生側の知識の積上げを図ることを検討したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

年度による成績の波はあるが、2015年度後期の不成績、学習意欲が盛り上がらないことは好ましくない。上記6のような改善を図ることが課題であろう。

学科	観光文化学科
氏名	若菜 啓孝

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
マルチメディアツーリズム	3・4	後期	選択	いいえ	61

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>これまで観光コンテンツづくりは第1種・第2種旅行業中心であり、「発地型旅行」が殆どを占めていたが、「手配する方法」「現地で活用」「旅行者同士で共有」などの場面で、インターネットが活用され、旅行者の観光行動も大きく変化している。さらに、これらの観光情報はブログ作成などにより個人で発信することも可能となり、観光分野におけるICTの利活用は必須のものとなっている。よってこの授業では「観光情報学」「地理情報学」の観点で、授業展開を行うものとし、これまで学んでいる旅行関連の科目を中心とし、ICTの活用方法に興味を示し、さらには、グループで制作物を作成することにより、コミュニケーション能力の育成もできるように授業を組み立てている。授業資料に関しては、独自でレンタルサーバーを借り、LMSを利用した資料の提供、振り返りシート、課題提出を行わせている。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	どちらともいえない	やや達成されなかった		やや達成された		どちらともいえない
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①SやAに相当する学生数は20%程度、Bに相当する学生は40%、Cは40%程度となっている。これらの成績は前年度の学生の状況を鑑み、基準を設けたものとなっている。</p> <p>②昨年度は難易度が高いとの意見もあり、その点に関しては、資料の精査を行い、さらに時間を多くとるなどしてゆっくりと進行したが、到達目標には達しない学生も出てきた。</p> <p>③「学習量の評価」とも関係し、不可のレポートはやり直させるなどの検討を行った。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上からの内容的妥当性 これまでに学んだ観光関連科目、情報科目の両方を兼ね合わせたものであり、内容的には妥当である。</p> <p>②DP、行動目標からの内容の妥当性 意欲関心の面では、一般生活および観光関連で利用しているIT技術などに興味を持たせることができ内容的には妥当である。しかしながら、コーディング作業が必要な時間においては、ついてこれない学生もいたこと、例題はできるが応用できない点など、技能表現の面では授業設計の再検討が必要である。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

①最終課題はグループで作品を提出させることにしており、昨年度に比べ1ヶ月ほど早め案内し、さらには、昨年度の作品を紹介するなどを行った。
②①に関しては、早めにグループ作りを行わせるようにした。
授業後半ではコーディング作業など、自主的に行う時間を増やした。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

興味関心を示す点では達成できた学生は多く見られたが、後半のHPのコーディングにおいては進行について来れない学生が出て、最終のグループ課題に影響が出ることもあり課題を残した。また、個人のレポート課題に関しては、昨年度に比べて、不十分なまま提出する学生も多くいた。再提出などを促したにも関わらず、期日を守られないことがあり、その対策や周知徹底の方法を検討する必要がある。また、実習の時間を多く取っているが、受講生が多いため指導の点には頭を悩ませる。また、提出課題のみで、発展・応用する学生の数を如何にして増やすか工夫が必要である。

学科	観光文化学科
氏名	川上 耕平

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
国際社会論	3・4	後期	選択	いいえ	72

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①この講義は、日本とは異なる国の社会を学習することによって、自国を相対化する視点を獲得することを目指したわけだが、その日本とは異なる社会として、アメリカ社会を中心に扱った。昨年度もこの講義を担当したが、72名も履修しており、昨年度の受講者からの評判を聞いた新3年生が履修したようだ。これはすなわち、昨年度の履修者の知的ニーズに応えた結果であると私は考えている。</p> <p>②「学修準備性」という点に関しては、教科書を指定していないため、予習をすることが難しい科目であったかもしれないが、事前にレジュメを配った場合には、それを前もって読んできてもらうようにし、宿題も設定してこの講義に予習が必要であることを示した。ただ、「外書講読」など事前の予習が重要な科目とは違って、予習よりも復習のほうに重要性がある講義というものが、いつの時代にも大学にはあり、本講義がそれに該当することを講義の冒頭で強調した。</p> <p>④昨年度も担当させていただいた講義であり、毎回コメントカードに感想を書いてもらっていたので、いたらない点は改善するように常に心がけてきた。この講義は来年度から「国際関係入門」引き継がれるが、それも私が担当させていただいたので、本学の学生の基礎教養向上を担当する役割を引き継がせていただきたと考えている。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	達成された		やや達成された		
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な成績の平均は82.7点であり、3名を除いて、みな80点を超えるような水準の答案を書いていたため、DPIIについては、「達成された」を選択した。目標別に見ると、この講義は、観光文化学科などの学生が、他講義を聴く際に必要な学際的知識、あるいは社会に出て観光に関する職業に就いた際の一般常識を提供することにあり、採点した試験の点を見ても、「知識理解 (DPI)」という点は達成されていると考えている。</p> <p>学生による授業評価においては、知識理解についての満足度を示すようなコメントがもっとみられればよかったのではないかと反省する部分はあるが、もう少し学生の関心を喚起するような視聴覚資料などを利用するなどしたほうがよかったのかもしれない。</p>					
<p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①カリキュラムマップ上の位置づけからみての内容的妥当性 本科目は、3年生以上が履修する「専門科目」であり、観光を学ぶ学生にとっては、当然、国際政治的知識は不可欠のものであるが、外国語を読む講義にとっても必要な知識を提供している(その意味では、学科横断的な履修も可能であればよいのではと思うところがありますが…)。なぜなら、外国語は文法や単語を詰め込んだだけでは解釈することはできず、多岐にわたる分野についてそれなりに知識をもっていないと、外国語に対する能力は向上しないからだ。今回のカリキュラム改訂で「国際関係入門」という講義がそのまま開講されているのは、そうした事情を外国語を教授されている先生方が理解されていることの証左であると考えている。</p> <p>②DP、行動目標からみての内容的妥当性 成績を限る限りでは、DP1-1つまり知識理解は、それなりに達成されていると考えられる。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性については、問題ないと考えている。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が設けられていた」の平均が低かったが、この授業は講義形式であり、上記の目的は、専任教員が開講している演習科目がその任を果たし、もっぱら基礎知識の教授に重点を置いた。受講者が70名を超えたため、少人数教育を特色とする本学としては少し問題があったかもしれない。そうしたなかでも、可能な限り、講師が発問し受講者が応答するという機会をつくろうとしたが、やはり限界があったといえるだろう。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

アメリカ社会を理解する上での基礎知識の教授という点では、目的は達成されたと思われるが、受講者参加型というかたちの講義は、やはり専任教員の少人数による演習にゆだねられるべきであり、限られた時間の中では、そうした役割分担が必要であると考えている。
また、実際に講義を行ってみると、社会科学系の科目を履修したことがない学生も多く、入念な導入的説明が必要となった。それはときに中学校の知識の確認にまでさかのぼることもあったため、シラバスどおりのスケジュールを消化できない場合もあったが、学生がわからないまま一方的に進めることは、その後の講義の進捗にも大きく影響するため、受講者のレベルにあわせることに意を尽くした。
来年度からは、「国際社会論」は開講されないため、この講義で必須知識として展開した内容は、来年度の「国際関係入門」に発展的に引き継がせていくことを考えている。

学科	観光文化学科
氏名	James Hicks

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
英語で話す日本の心Ⅱ	3・4	後期	選択	いいえ	31

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>This continuation of the first term course focused on providing Tourism Department students with an opportunity to improve their ability to explain Japanese culture to tourists and anyone else interested in learning about Japanese culture. We used the textbook "This Is Japan" (Macmillan), which focuses on traditional aspects of Japanese culture through the experiences of an exchange student and his home stay family.</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された					達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>Students were assessed on 4 criteria (attendance 30%, class work 34%, homework 16%, and a final test 20%). The majority of students received scores in the 70s and 80s.</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>Although student interest was evident, class size continues to make it difficult to engage with them individually and forced adjustments in instructional design. The skills being practiced (DP5) were both practical and useful. The average student took the opportunity to improve their skill set.</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

As mentioned in the term one self-reflection, goals for the next academic year will include more frequent homework assignments and quizzes to improve student focus. In addition, more preliminary writing practice using the target language should improve the average student's skill level. Classes in excess of 45 or 50 students are not ideal for assessment based on spoken communication.

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

The biggest challenge in the coming year will be to design lesson plans ideally suited to the number of students in the class. I continue to feel that a class limit of 30 students would allow for a more productive student/teacher ratio, and more focused classroom energy.

学科	観光文化学科
氏名	林 裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門演習Ⅱ	3	通年	必修	はい	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>演習研究科目の総仕上げである卒業研究で卒業論文を書くことを次年度に備えての授業となる。基礎的な文献を読むことができる力を養い、自主的に課題を見つけてその解決方法を見出す取り組みができるように課題を出した。受講動機は、「必修科目であること」が100%、「単位数を確保する」が25%であり。動機づけとしては望ましいとは言えないが、到達度自己評価には、①～⑩のどの項目でも、②少しそうでないと思う。以下の選択は一人もいなかった。学生は学生なりに到達目標を積極的に設定していたものと推定される。授業は基本的には、かなり難易度が高い英語の文献を輪読することである。但し、原著は日本語の新書であり、それを3年最初に読んだ後に、その英語版を輪読しているのであり、何となく理解されている部分もあるはずである。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>新聞の社説をペン書きで写す。新聞社の読者の声のコーナーに投稿するという主に授業外の活動を四年の7月まで続けるという計画を3年最初に説明して、継続的に行ってきた。確実に思考力が伸び、それを具体化する論理的な表現力も伸びてきているそれは、新聞の投稿の採用率が、クラス全体としてはおそらく25%ぐらいであろうことから証明される。当初の幼さが残る文章から大人の文章を書くことが次第にできるようになってきており、地道な活動ながら着実に伸びてきている。新聞・雑誌を読むことを投稿の前提としていたので、その一助として図書館での朝日新聞のデジタル版の利用方法を、実際に図書館で説明した。その結果もあり、アンケートの6図書館利用では、「(1)図書館の図書、雑誌を利用した」について、75%が利用したと回答している。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>四年間の演習研究科目内での最後の位置づけとして、合理的な配置だと考えられる。2到達度自己評価では、「かなりそうだ」はないが、その次の「わりとそうだと思う」は、「事象を理解できる視点や考え方を得ることができた」「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」が、75%であった。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

アンケートからは、学生はこの授業を復習重視ではなく、予習重視で対応している。授業受けっぱなし的な取り組みが散見される。4学習量の評価で(2)授業を振り返るために、1回30分程度以上の復習をどのくらい行いましたかに対して、②1回が、5人中の2人いる。また、(4)授業の課題以外に学習に取り組みましたかに対しては、①していないが3人、②取組んだが2人となる。まだまだ甘い授業であり、もっと勉強させる課題を与える必要がある。また、学習を自主的に行わせる整える必要もある。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

地道にこつこつと取組むグループと、地道な取り組みはないが、授業中には目立って発言をするグループとに分かれている。少人数(7)のゼミであり、自分の意思で選んだゼミでの活動を誰もが盛り上げていけるように学習集団を作り上げていきたい。一つ提出物からいえることは、偶然ではあろうが、全員、非常に字がきれいであり、大人の文字を書く人たちがばかりである。まだまだ未成熟なコミュニケーションをする人もいるが、潜在的には、競い合い協力し合うことで、刺激を受けて、全体として伸びることができると確信できる。非常に論理的・説得的な発言をする人が良きロールモデルともなっている。

学科	観光文化学科
氏名	須藤 秀夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門演習Ⅱ	3	通年	必修	はい	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学生が、自分で関心を持てる経済・社会の事象をとらえ考えること、あるいは、その姿勢をもつこと、また、質問する力を向上させることを重視している。後者は、諸事象への関心や物事の本質をとらえようとする思考力の向上につながるからである。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>全体については、「自分なりの目標」3.4から「やや達成」と考える。「知識」3.6、「視点や考え方」3.4、「学びを深めたい意欲」3.0、「コミュニケーション力」3.5から、「やや達成」と考える。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>観光文化学科DP1「文献の内容をまとめ、考え、伝達する能力」、DP4「現代社会の実態を学際的な視点でとらえ、問題解決に必要な思考力」、DP5「ツーリズムとビジネスの実務で必要とされる幅広い知識と技能を身につけ、地域社会に貢献する実践的な能力」、DP6「国際的視野と地域的視野に立った思考力」に本科目は資する。と考える。</p> <p>内容はまずまず妥当と考える。10年以上続けている外為模擬ディーリングは、国際経済・国際ビジネスに力点を置いていた名残であり、やや内向きな関心の強い最近のゼミ生にとって関心が薄いかもしれないが、世界経済、日本経済を理解する上でのツールとして続けたい。金融機関などと連携してのPBL(課題解決型)は、今後可能性としてはありえよう。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に
お示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し
ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、
インターネット利用」学生の意見など

学生間の議論の場をより多く持つことは、(一学生の発表・議論に他の学生を関与させてはいるか)今後も考えていきたい。就職対策としても学生が望んでいるもの
でもある。現在進行中・発展中の経済社会事象(例えば、IoT:Internet of Things等)について担当教員の知識を向上させ、ゼミ活動に反映させたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

「自分が学ぼうとしている専門分野」での「課題を検討する力」「適格に判断する力」「必要となる技術」について、「そうでないと思う」学生が若干名いるので、その要
因を教員として承知したいところである。

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門演習Ⅱ	3	通年	必修	いいえ	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学生はそれまでの演習系科目において論文作成について学んでいるはずであるが、卒論執筆に向けて、さらにその復習を行った。観光系のことについてもすでに学習は進んでいるが、この授業では、特に学生が卒論のテーマに選びそうな項目を中心にさらに深めて学ぶようにした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	出席率、受講態度、提出されたレポートのいずれも最高であった。当然、成績もそれを反映して全員が「優」以上の成績であった。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>これまでの専門科目を踏まえて、さらに卒業論文作成の準備を行うための科目であり、それに沿った授業を行った。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学生がこれほどまでに完璧に授業をこなすということは想定外であった。もっと難易度の高い教材を用意しておくべきだったと反省をしている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

今回の授業においては、目標は十分に達成できた。今後は学生がさらなる飛躍ができるように、もっとレベルを高めた教材を使用して、可能性にチャレンジしたいと考える。

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門演習Ⅱ	3	通年	必修	いいえ	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①専門演習Ⅱは4年生の卒論研究教育への円滑に行うための研究演習教育として位置づけ、まず視野の広げ、判断力、分析力の学習方法を身に付けてもらう。ゼミに所属して専門的に学ぶ。「研究」「多読」「レポート作成」「文献の探し方」「発表の反復」などにより実践的な力を身に付けることを目指す。②昨年度までと同様、授業の最初に学習準備状況の確認アンケートを実施した。学習者の関心事を再度確認した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は80点であり、再試対象は0名であった。全員が標準的レベルに達したが、理想的レベル(概ね90点以上として総合的に判断作成)に達したものは2名と限られた。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>DP、CPカリキュラムマップ上の位置づけから見ての内容的妥当性、本科目は専門演習科目である。卒業研究をつなぐ要の位置にあり、必修である。内容的に妥当であるとする。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に
お示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し
ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、
インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価においては「授業中に自分の意見を纏める、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が設けられていた」の平均が4.1となった及び、「説明は理解しやすかった」お平均は3.7と低かったことが想定より低かったことも反省点である。次年度にむけては授業方法及び説明方法を検討するべきである。なお図書館利用においては、「この授業では図書館の図書、雑誌を利用した」の項目は基本的に利用しなかった。今後出来る限り図書館の利用習慣をつけていくように促していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

専門演習Ⅱは専門的知識の形成、判断力、分析力、実践力の養成については概ね達成できたが、ゼミの担任として常に連絡し、指導をしっかりとる必要がある。

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
専門演習Ⅱ	3	通年	必修		3

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機をみると「必修科目である」100%、「単位数を確保する」33.3%、「関心のある内容である」0%となっており、履修者が「専門演習Ⅱ」では、何を学ぶかについて、まだよく理解できていないことが分かる。シラバスの作成に工夫が必要があると思われる。</p> <p>②最初のゼミにシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。</p> <p>③月に1回程度、卒論の発表をしてもらい、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。</p> <p>程度、就職の指導を行い、学生の就活に役立つスキルを伝授した。</p>	④月に1回
---	--	-------

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な成績の平均値は90.6点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的レベルに達したと思われる。</p> <p>目標別に見ると、知識理解に関しては99%、思考判断に関する問題は90%、意欲関心に関する問題は90%、態度に関する問題は99%、技術表現に関しては90%であった。それぞれの目標がやや達成されたことを示している。</p> <p>学生による授業評価においては、知識理解、思考判断、意欲関心、態度、技能表現の観点での自己評価に差がないことが示された。</p> <p>図書館、インターネットの利用に関しては、前者は66%後者は100%となっている。</p>					
<p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から知識理解、思考判断、意欲関心、態度、技能表現に関する達成度がある程度のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「専門演習Ⅱ」であるが、「卒業研究科目」をつなぐ要の位置にあり、必修である。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えられる。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、各項目については、評価が良かった。特に「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の評価は良かった。次年度に向けては、学生がもっと積極的に参加できる機会・環境を作っていくたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

「卒業研究科目」をつなぐ要の位置にあるとの位置づけから、基礎的知識の形成については概ね達成できたが、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。
また、学生の知識理解、思考判断、技能表現の力を高めるために、授業中に課題を行う時間を増やすようにしたい。

学科	観光文化学科
氏名	木沢 誠名

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門演習Ⅱ	3	通年	必修	いいえ	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>ゼミの実習拠点である「れとろこまち」の運営を中核に、社会人基礎力の向上に努めた。特に、土日に行う北九州市立大学との共同事業や、地域の商店主、観光事業者との協業を重視し、座学ではそれらの経験をPDCAサイクルに沿って議論した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	特に根拠はない。本人たちとの議論でそのように判断した。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	特記すべきことはない
--	------------

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に
お示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し
ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、イン
ターネット利用」学生の意見など

特記すべきことはない

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

特記すべきことはない

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門演習Ⅱ	3	通年	必修	いいえ	9

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>マーケティング、広告宣伝、メディアの理解と体験を通してマーケティングマインドの醸成と4年次の卒業研究へのステップとして学生自身が計画を立案できる授業構成および就職活動準備指導に重点を置いた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	どちらともいえない	やや達成された	やや達成された	どちらともいえない
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	アンケートの学習到達度の自己評価、授業の質の項目については各項目について中央値以上の数値が認められるためやや達成されたと評価する。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>アンケートの学習到達度の自己評価、授業の質など項目について概ね中央値井女うっであるため内容的妥当性はあると評価する。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

就職活動指導とマーケティング理解の基本的理解との時間的配分が計画通りに行かなかった。あらかじめ学生に時間配分をオリエンテーションする必要がある。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

科目達成状況としては概ね達成と評価するが、上記の通り、マーケティングの基本学習量の確保・向上と就職活動指導の計画の時間的配分が課題。

学科	観光文化学科
氏名	林 裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
卒業研究	4	通年	必修	はい	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>卒業論文を書き上げる必要があり、3年次の最初から2年間の大まかな計画を示して、自主的な取り組みを促がしてきた。四月から、回を追う毎に卒論指導の頻度と比率が高まっていくことを示していた。受講動機は、必修科目である(80%)、関心のある内容である(40%)、単位数を確保する(20%)であり、自らの意思で選択したゼミであり、40%が、「関心」を動機として示している。最終的には、自分の選んだテーマでの卒論制作ができるかどうかあり、卒論指導を全体指導、個別指導で何度も何度も繰り返して行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	達成された	達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>評価割合は、A(3名)、B(3名)、C(1名)である。図書館利用については、(2)のCINIなどについては、利用しなかったが、3名である。回答者6名中、5名以上は、図書館の図書・雑誌を、また、インターネットのHPを利用したとしている。CINI利用を人文系学生に問われると、極めて低い利用状況が出てくるのではないだろうかと思う。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>卒業論文の重みは学生には極めて大きく、負担感も大きいですが、それゆれに地道で計画的な取り組みが必要であることを学生は意識している。様々なDP実現を担う科目でもあり、最終年に通年で設置されていることは、合理的である。到達度自己評価で、最も否定的だったのは、(10)職業選択の参考になったについての、少しそうではないと思う(2名)だった。直接的にはそうであるが、長い目で見れば、間接的には役に立つのではないだろうかと期待する。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

基本的には、3年次に続いて、4年次も英文の輪読である。極めて基礎的な英語の輪読ではある。文章を前後関係を含み込みながら解釈していくという基本的なトレーニングが不足しており、それをする良い機会である。基礎の基礎から徹底しなおすことの連続である。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

就職活動の後倒しが、この科目に与えた影響は大きい。まず、全員が揃うことが難しくなり、全体指導をするにも同じことを何度もしなくてはいけなくなった。それを補うには個別指導、グループ指導、または学生相互の教え合いをするしかない。一部の学生の間では、ネットからのカット&ペーストが常態化しつつあり、それを見つけて指導するのに方策が大学自体として必要なのではないだろうかと思う。

学科	観光文化学科
氏名	須藤 秀夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
卒業研究	4	通年	必修	はい	11

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>卒業論文で追及することを「問い」(問題意識)の形で明示し論文の狙い(「背骨」)をはっきりさせること、論述の組み立て(論理展開)を分かりやすくすること、主張の論拠(データ、事例など)を示すこと、自分の意見と事実、他人の意見とを区別して記述すること、これらを強調して指導している。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価の中の「到達度自己評価」において「自分なりの目標を達成した」4.1、「知識」4.0、「視点や考え方」3.7—「判断する力」3.6、「意欲」3.9、「職業倫理、王道規範」3.4、「必要となる技能」ならびに「コミュニケーション力」3.2、以上から上記の通り考えた。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>観光文化学科DP1「文献の内容をまとめ、考え、伝達する能力」、DP4「現代社会の実態を学際的な視点でとらえ、問題解決に必要な思考力」、DP5「ツーリズムとビジネスの実務で必要とされる幅広い知識と技能を身につけ、地域社会に貢献する実践的な能力」、DP6「国際的視野と地域的視野に立った思考力」に本科目は資する。と考える。</p> <p>内容はほぼ妥当と考えている。悩ましい点は、担当教員の専門分野である国際金融の分野を扱う卒論がほとんどないことであるが、学生の関心・希望する分野に任せているので、致し方ないところではある。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

前期末に卒論10枚、後期初めに15枚、後期中で18枚、12月中旬に20枚と、量および質においてステップアップさせて、着実に進行することを狙ってきたが、この進め方は、学生も支持しているので、今後も続けたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

学生による「到達度自己評価」にはほぼ満足している。一方、年々、学生の扱うテーマがほとんど国内事象になっているので、各テーマについて海外との比較などできるだけ海外に関係する事項を取り入れるように指導しているが、テーマ自体についてもっと国外の事象に目を向けるよう指導することが課題であろう。

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
卒業研究	4	通年	必修	いいえ	9

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講生は3年次より指導しており、それぞれの学生の得手不得手は理解していたため、それぞれの学生にあわせて卒論指導を行った。3年次の授業では観光中心であったものの、卒論でビジネス系のことを選ぶ学生もいたため、特にそのような学生については丁寧に指導を行った。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	就職活動の時期が変更になり大変な時期であったにもかかわらず、学生の出席率は9割を超えていた。学業と就職活動を両立していたと思われる。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	この科目は学科の集大成であり、この位置づけは妥当だと思われる。
--	---------------------------------

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

これまでは、個別指導を中心としてきたが、論文には共通なことも多くいため、今後は合同で指導をして、他の学生の論文を参考にできるようにしたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

今回は、就職活動の時期はこれまでとは違ったために、学生も教員もうまく対処できず、卒論の計画を立てるのが困難だった。今後は、今回のことを参考に対応をしていきたい。

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
卒業研究	4	通年	必修	いいえ	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>卒業研究はこれまでに学んで得た知識とアプローチの仕方を生かしながら、学習者各自がそれぞれの専門領域に置ける学習の中で最大の関心事として選んだテーマを明らかにし、その問題への考察を深め、見通しを持って一つの仮説を立ててみる方法に習熟するのは学習の狙いである。そのため、先行研究の成果の収集力、批判的に理解する力、仮説を立てる構想力、論文の展開する力などを養うことを目指す。学習者全員に毎回論文に最適な方法で研究を進めさせたり、研究計画を立て作業を進めさせたり、学習意識及び方法を高めるようにしてきた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は89点であり、論文を時間通りに提出できた。全員が標準的レベルに達したが理想的レベル(概ね90点以上として、総合的に作成)に達したものは4人となった。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>DP、CP、カリキュラムマップ上の位置づけから見ての内容的妥当性、本科目は卒論研究である。大学四年間一番重要な位置にある。内容的に妥当であると考えられる。到達度の自己評価「自分なりの目標を達成した」「知識を確認、修正したり、新たに得ることが出来た」「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることが出来た」「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲を持つことが出来た」「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」「職業選択の参考になった」などの平均が5と高かった。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は」などの項目は平均5と高かったが、「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」の平均は4.0と低かったことが想定より低かったことも反省点である。次年度に向けては、しっかり検討するべきである。なお、図書館利用においては、「この授業では、図書館から利用できる学術データベースを検索し、利用した」の項目は基本的に利用しなかった。今後出来る限り図書館の利用習慣を付けていくように促していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

卒論研究は卒論に関する知識の形成、学習の方法については概ね達成できたが、個別指導は必要であると考える。

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
卒業研究	4	通年	必修		5

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機をみると「必修科目である」100%、「単位数を確保する」33.3%、「関心のある内容である」40%となっており、履修者が「卒業研究」では、何を学ぶかについて、まだよく理解できていないことが分かる。シラバスの作成に工夫する必要があると思われる。</p> <p>②最初のゼミにシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。</p> <p>③月に1回程度、卒論の発表をしてもらい、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。</p> <p>月に1回程度、就職の指導を行い、学生の就活に役立つスキルを伝授した。</p>	④
---	---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な成績の平均値は91.5点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的レベルに達したと思われる。目標別に見ると、知識理解に関しては99%、思考判断に関する問題は90%、意欲関心に関する問題は90%、態度に関する問題は99%、技術表現に関しては90%であった。それぞれの目標がやや達成されたことを示している。</p> <p>学生による授業評価においては、知識理解、思考判断、意欲関心、態度、技能表現の観点での自己評価に差がないことが示された。図書館、インターネットの利用に関しては、前者も後者も100%となっている。</p>					
<p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から知識理解、思考判断、意欲関心、態度、技能表現に関する達成度がある程度のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「卒業研修」であるが、「活躍できる社会人」をつなぐ要の位置にあり、必修である。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えられる。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、各項目については、評価が良かった。特に「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」「口頭、文章など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」の評価は良かった。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

「活躍できる社会人」をつなぐ要の位置にあるとの位置づけから、基礎的知識の形成については概ね達成できたが、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。

また、学生の知識理解、思考判断、技能表現の力を高めるために、授業中に課題を行う時間を増やすようにしたい。

学科	観光文化学科
氏名	木沢 誠名

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
卒業研究	4	通年	必修	いいえ	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>ゼミの実習拠点である「れとろこまち」の運営を中核に、社会人基礎力の向上に努めた。特に、土日に行う北九州市立大学との共同事業や、地域の商店主、観光事業者との協業を重視し、座学ではそれらの経験をPDCAサイクルに沿って議論した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	特に根拠はない。全体的に判断している。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	特記すべきことはない
--	------------

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

特記すべきことはない

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

特記すべきことはない

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
卒業研究	4	通年	必修	いいえ	11

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学生が各自で選んだ卒業研究テーマについて資料収集し、それを自分なりの視点で分析できる能力養成に重点をおいた。各学生に2週に1回の研究進捗状況の発表を課した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学生個人によりレベル差があったことは否めないが、アンケート結果によりDPはやや達成されたと評する。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機(必須)、学習到達度の自己評価などより、本科目自体の内容的妥当性はあると評価する。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質の評価についてはやや達成されたとと思われるが、アンケートにおける学習量の評価、情報利用、図書館利用の低さは卒業研究自体の質に関わる重要な課題と考えられ、改善を要する。改善方については、課題量の検討、研究の質的な向上を常に意識させる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

達成状況はやや達成したと判断するが、上記で記述した学習量、情報利用等が課題である。

学科	観光文化学科
氏名	James Hicks

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
Oral English II (bクラス)	1	後期	必修	いいえ	19

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>This course is divided into two sections: Skills and Communication. For this second term class, I taught "Skills". We used the textbook "Four Corners" (Cambridge), which guides students through a series of practical exercises aimed at improving spoken English skills. Students engaged in listening practice, dialogue drills, information gap exercises, role plays, reading comprehension, and vocabulary building.</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された					達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>Students were assessed on 4 criteria (passive participation 30%, active participation 34%, homework 16%, and a final test 20%). The majority of students received a grade in the 80-89 range.</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>Students were enthusiastic, positive, and willing to learn. This positive outlook contributed to a high level of participation and increased understanding of the material. Opportunities to build skills (DP5) were provided throughout the course with most students taking advantage of the opportunity.</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

Goals for the next academic year include better integration of supplementary materials into the current curriculum and increasing opportunities for kinesthetic learning (space permitting). Adding pages to the workbook to match the number of lessons in the term is recommended.

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

Streamlining and improving the use of class workbooks to encourage note taking and completion of homework will improve the accuracy of individual assessment and keep students focused on clear objectives for each class. The use of rubrics to assess class presentations and role plays would also streamline and improve assessment. Finally, the introduction of a simple peer-review process for assessment of presentations might transform passive observers into active participants in the learning process.

学科	観光文化学科
氏名	Kenneth Maynard Gibson, Jr.

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
Oral English II A(a,bクラス)	1	後期	必修	いいえ	37

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	Preparation wasn't good. A few students prepare and most just copy from them just before class.
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された					やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	Some progress was made, but not enough. Most tried hard in class, but didn't really do homework.					
<p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	In the class they worked hard and made progress, but since they didn't study outside the class I think they soon forgot what they learned in the class.
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

These are set by the department, not me.

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

The challenge is to pass all the students. In other university classes I teach in other universities very few of these students would pass.

学科	観光文化学科
氏名	薬師寺 元子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
Intensive Reading II (bクラス)	1	後期	必修	いいえ	19

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考に記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>授業の実施にあたり大切にしていることは、積極的、且つ、能動的な学習態度を軸と致しました。①まず出席とレポートの提出が肝要であると強調致しました。②次に予習に重点を置くように勧めました。③さらに、予習復習を徹底するためにノートを作り、その使い方を詳細に説明致しました。まず英文をノートに写し、和訳をし、新出単語を調べてくる。これは、約4分の3の学生が実行致しました。『授業以外に具体的に取り組んだ学習』の自由記述に、「ノートを作り、きれいに訳を書きました」、「英単語を覚える」とありました。少々難易度の高いテキストを使用致しましたので、実際は、大変時間が掛かる予習だったと推測致します。語学の学習は、繰り返しと忍耐力も必須ですので、そのように致しました。④英語のReadingの授業ですので、授業に入る前に、自宅学習と致しまして次回の範囲を4回以上音読することを義務付けました。しかし、これは、あまり、実行されていなかったと推測致します。『受講動機』は、必修科目ですので、全員真剣に取り組んだと判断いたします。学生の「自由記述意見」としまして、「復習などに取り組んだ」、「ノートを作り、きれいに訳を書き直した」、「単語を覚える」等が挙げられておりました。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された					達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①全員が、標準的レベルに達し、最終的な成績の平均値は100点満点中の78.2点であり、再試対象者は0名でした。80点以上で、理想的なレベルに達したのは、19人名中9名でした。「多読のレポート」提出に関しては、全員が目標の10回分以上に達しました。1名ですが、1016ページもの英文を読破致しました。図書館の利用が十分になされていたと判断致します。②「日本の事象について英語で説明できる」に関しまして、テキスト暗記用の小テストを13回実施致しました。全体の平均点は8点満点中5.6点でした。最高の平均点が7点で、最低が2点で、個人差がかなりありました。小テストの様式は穴埋め問題ですので、難易度は、標準的なものを作成いたしました。テキストの『日本の事象英文説明』をもう少し時間をかけて重層的に幅広く説明できれば、もっと、理解が深まるのではないかと判断致します。『学生の到達度自己評価』につきまして肯定的な解答は、(1)自分なりの目標を達成した84.2%。(2)知識を確認、修正したり、新たに得ることが出来た(84.2%)。(3)事象(自然、人、社会、歴史など)を理解する視点や考え方が出来た(84.2%)。(4)自分が学ぼうとしている専門分野の様々な課題を検討する力を得ることが出来た(約90%)。(5)自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることが出来た(84.2%)。以上のように学生の学習に対する到達度自己評価は、かなり高いが(10)職業選択の参考になった、という点では、否定的な解答が22.2%という結果となっております。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>カリキュラムマップ上の本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価に関しまして、①CP、本科目は人文学部観光学科の必修科目であります。昨今、グローバル化が進み、英語の発話力が問われてきました。しかしコンピューター時代に突入したため、それ以上に、正確な英語の読解力が求められます。精読により、語彙力、文法力を徹底的に修得することが肝要でありますので、中心的必須科目の位置にあるといえます。学生の本科目に対する到達度自己評価に、「知識を確認、修正したり、新たに得ることが出来た」、「事象(自然、人、社会、歴史など)を理解する視点や考え方が出来た」、「自分が学ぼうとしている専門分野の様々な課題を検討する力を得ることが出来た」、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることが出来た」等に関するものが、8割以上を占めていますので、本科目の内容的妥当性を確信致します。②DP、行動目標から見ての内容的妥当性に関しまして、学生が達せきすべき行動目標は、1.長文の読解が出来る。2.日本の事象について英語で説明できる。3.習慣として英文を読むことが出来る。以上3つも事項が挙げられています。「長文の読解が出来る」につきましては、世界遺産を中心にした教科書により、知識を広めながら、英文を確実に精読致しました。これにより、語彙力、文法力を強化できたと考えます。次に「日本の事象について英語で説明できる」に於きましては、決められた範囲を理解し、音読し、暗唱し毎時間小テストを実施致しましたが、平均点に個人差がありました。最高平均点10点満点中8点、最低の平均点は2点、で全体の平均点が5.6点でした。最後に「習慣として英文を読むことが出来る」ですが、これも英語の原書の童話等の多読により、毎週、ストーリーの粗筋、読後感想の提出義務により、かなり、実践できたのではないかと確信いたします。③まとめ、以上から、内容妥当性には全く問題はないと判断致します。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価につきまして、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」では、「まあまあそう思う」と「わりにそう思う」と「かなりそう思う」を合わせると、94%であった。「期間内に行うべき課題は明らかであった」では、100%であった。「説明は理解しやすいものであった」では、83%であった。授業中に自分の意見をマロメル、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」では、89%であった。「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、其れに答える機会がつけられていた」では、89%であった。以上総合いたしますと、ほとんどが、進め方につきまして、好意的でございますが、5項目の内、「期間内に行うべき課題は明らかであった」以外は、1～2名ですが、「そうは思わない」と言う意見がございますので、全員が満足するような解答になりますように、「アンケート用紙」を活用し、次回は工夫を凝らす所存でございます。学期はじめに、英字新聞、英語ニュース、映画、DVD、英語の雑誌、ネイティブの先生と英会話を楽しむ等を利用して、一日30分以上は英語に触れるようにと、オリエンテーションで詳細に説明したにも関わらず、「課題以外することが分からない」という学生からの意見がありましたので、今後は、もっとじっくりと何回も繰り返し、授業以外の英語力の高め方を説明していきたいと考えております。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

本科目に対する学生からの「担当教員への意見」がございませんでしたので、嬉しくもあり、寂しくもあると言ったところでございます。本科目は、「英語の精読」、「多読」、「日本の事象を学ぶ」という3つの要素からなる幅広い教科でございます。その分、毎回の授業の準備に、資料集めや、プリントの準備、教科書の予習、復習など大変多忙な教科でございます。一応標準的レベルである「辞書を使って長文の読解が出来る」、「月3冊の英文の本を読むことが出来る」はなんとか達成できたと判断致しますが、「授業で学んだ日本の事象について英語で説明できる」点に於きましては、まだ、日本事象を英語で説明できる段階には達成しておりません。次年度からは、せめて与えられた範囲だけでも、英語で日本事象が説明できるように指導していきたいと存じます。今後は「アンケート」で学生の意見を取り入れたり、「学生一人一人と直接コミュニケーション」をしっかりと取りながら、英語力の向上を目指すことを可能にする方法を検討し、来年度に改善を行いたいと存じます。

学科	観光文化学科
氏名	村田 希巳子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
Intensive Reading II (クラス)	1	後期	必修		18

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>多読の授業なので、しっかり多読を促し、毎週感想を英語で書いてもらい、提出させ、英作文のアップも狙った。教科書は、新出単語のテストを行い、単語力アップも狙った。さらに予習をしっかりと調べたので、学修準備の量が多く、「忙しかった」「課題が多かった」の意見があり、「予習した」「小テストの勉強」の取組みがみられた。「単語のテストで手いっぱいだった」という学生もいたが、負荷がかかった授業だったようである。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	全体を通して					
	達成された					やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>単語のテストは、1回5点満点、10回行った。その合計を2で割って25点満点にした。学生の平均は17点とまあまあの成績である。満点を取るように負荷をかけたので、まあまあ成功したと考えられる。多読は全員10回出したので、20点の加点があり、11回目を出した人には1点プラスした。単語25点、多読20点、復習テスト55点とし、100点満点としたが、平均が83点とまあまあの成績だが、一定の成果が見られた。負荷が大きかったが、学生の意見は、「楽しい授業」だったとあったので、あまり苦痛を感じていないことが良かった。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>必須授業なので、モチベーションは低いようだが、真面目で頑張る学生が多く、課題を与えたとどんどん伸びていくのがよく分かる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業は、明朗活発な学生が多く、脱線させようと張り切っているのが分かり、その手に乗らないように気を引き締めた。「楽しい授業」だったのは、いいような悪いような、複雑な気持ちである。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

やる気はあまり感じられないが、負荷を加えるとのびるので、上手に負荷をかけていきたい。

学科	観光文化学科
氏名	八尋 真由実

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
Extensive Reading II (クラス)	1	後期	必修	いいえ	20

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>e-learningを使つての授業ということで、学生が主体となって学習できるように、まず開講時にchieruの中のTOEICミニテストを利用してスコアを確認してもらい、閉講時にも同様の試験を受験することで、スコアの伸び具合を確認した。パソコンに向かっての学習だけでなく、手を動かす作業が必要な課題を毎週出し、それに沿った小テストを毎回行うことで、学習に対する意識を高めると同時に、学習状況を確認できるようにした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>Chieruを使つての学習は、授業中はほとんどの学生が良く取り組むことができていたが、時間外の課題は不十分な学生も見られた。期末テストで出題した短文英訳、リスニング(ディクテーション)は、ほとんどの学生が及第点であったが、小テストでは準備が不十分な学生も見られた。TOEICのミニテストに関しては、真面目に取り組んでいない学生も見受けられ、スコアアップにつながらなかった。パソコンを使つての学習にどれだけ積極的・主体的に取り組ませることができるかが課題である。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>必修科目(英語)で、主にリスニング、発音、簡単な英作文を中心に学習したが、DP-1の基礎学力はついてきている。DP-5の外国語でのコミュニケーションについても、その基礎となる学習が可能であったと考える。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学習した発音をきちんと身に付けられるように、教室の中でのアクティビティを増やしていく。TOEICミニテストは、テスト形式慣れるために毎回行ったが、問題も読まず(音声をよく聞かず)適当に答えをクリックする学生が見られたので、TOEICテスト自体行うかどうか、受講生のタイプから慎重に見極める必要がある。Chieruに関しては、良く取り組めていたので、従来通り、リスニング中心を進める。短文英作文は基礎能力を付けるのには格好の教材だが、量が多く、負担が大きかったようなので、適宜量を調整していく。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

多くの学生が頑張っており、期末テストではほぼ及第点をとれていた。評価が悪かったのは、出席、課題、小テスト・期末テストに対する準備が不十分な学生であった。授業内外を問わず、全員がもっと主体的に学習に取り組めるような雰囲気づくりを行っていくことが今後の課題であるとする。

学科	観光文化学科
氏名	林 裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
Extensive Reading II (クラス)	1	後期	必修	はい	17

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①マルチメディア教室(6208)の機能を生かして授業を行った。この教材(E-learningのCHeru)を使っての学習であり、ポイントは教員とのやり取りではなく、一人当たりの学習量を効率的に増やすことであり、授業と授業外でのトータル学習量を増やすことを目標として示した。また、基礎的な英語学習の習慣付けをするためにも、締切を二種類に分けて、計画的に学習できるように課題を出した。締切の一つは、毎回の授業に関わる締切で、もう一つは、毎月そして学期最後を締切にする課題を予め示した。自由記載の評価には、「4.学習量の評価(3)授業の記録はどうしていたか」では、「教科書」「パソコン」と二つが示されていた。授業で使ったE-LearningのCHeru(チエル)は、入学以来の学習記録の質的・量的記録が、ネット上で学習マイル数として蓄積されていく。それが学習者本人にもわかるようになっているので、やりがいを感じての学習ができるように計画を立てている。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された			

<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>アンケートでは学習量の評価においては、予習がゼロ回が4名。復習がゼロ回が9名と出ている。しかしながら、学生のCHeruの学習記録上では、少しの空き時間でも学習を継続しており、ネット環境(但し、スマホには未対応)があるところでは勤勉に取り組んでいる記録が残っている。14906(2016年5月23日現在)の学年平均の学習マイルであり、おそらく1年次の終わりには、14000マイル程度であったことが推定される。この数字は2014年度入学者の記録を大幅に超えるものであり、学習量は担保されていると言える。評価割合は、AとBがそれぞれ17.6%、Cが41.2%、Dが17.6%、Eが5.9%(1名)であった。</p>
--	---

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>DP上からは、一年次にこのようなマルチメディア教室を使い、英語とネットを使い、効率的な学びが可能な授業を受けておくことは必要である。到達度自己評価の(3)事象を理解する視点や考え方を得ることができたが、少しそうではないと思うが、5名であり、10の項目の中で最も大きな否定的回答であった。これはこの講義が担当者の一方向的な講義ではなく、学習者からの読みが必要な形式であることから来していると推定する。その読みの対象の教材の英語が最も基本的レベルでも受講者からすると基本には見えない。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

入学者の学力の幅が、下に大きく振っている傾向がある。また、高校での必修科目「情報」の知識を前提で授業を進めているが、その「情報」での学習内容とその定着の度合いが高校により大きく異なる。例えば、ほとんどキーボードを見ずにタイピングができる学生から、二本指でゆっくり入力する学生まで多様である。かつてのカリキュラムでは、専門科目に「コンピュータ文書Ⅰ、Ⅱ」のように情報科目があったが、現在は総合人間科学に選択科目としての配置だけである。それらは選択科目であり、それらの情報科目を全く履修せずに、この英語の科目(必修科目)を履修する学生には、タイピングからがチャレンジな学習項目となる。それに対して、「難しい」「できない」とかまえさせるのではなく、ネット上の無料のサイトを利用して、楽しみながらタイピングスキルを身につける方法をさせることもしている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

シラバスに学習マイルを2500以上と記載していたが、非常に早い時期にそれを全員がクリアしていた。とにかく誰もが練習できる、誰もがいつでも参加できるのが、このようなソフトウェア利用のE-learningの強みである。しかしながら、毎年、学年に1人ははまってしまう学生が出てくる。それらの学生には逆にほどほどに学習をするように、時には休憩を入れようねと助言をする。このようにいつでもどこでも1人で学習可能である特質が、そのような学生を把握するのに役立つ術にもなっている。予算措置が必要であるが、タイピングのソフトがあれば更に効率的に学習できるだろう。

学科	観光文化学科
氏名	野中 誠司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
Grammar & Composition II (aクラス)	1	後期	必修	いいえ	18

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考に記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は必修科目であり、受講動機においても全員がそのことを認識したうえで履修していた。内容的には、中高で学んだ英文法および英作文の復習を総括的に行うのが主たる目的であるが、受講生の習熟度レベルが高かったことを考慮して、従来の英文法とは異なるアプローチとして、単語のもつ色合い(ニュアンス)や文法的に正しい英文であっても、意味的に自然・不自然なケースが生じるなど、具体的な英文を例示し、学生が抱く英文法に対するネガティブなイメージを払拭する試みも導入した。受講生の学習姿勢や態度は非常に良好であった。1名の学生が受講期間の前半に欠席過多であったが、しっかり個別に叱咤激励などのフォローアップを励行することで、後半は欠席がなくなり、学習意欲も旺盛になるなどの改善がみられた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された					達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な全体の成績平均値は78.1点で、再試対象は0名であった。全員が標準的レベルに達したが、中には単位認定ラインである60点から5ないし8点上回る程度の結果になった学生もいた。平素の授業において発表するなどの授業貢献度においては、平均スコアが20点満点中12点とほぼ全員が指名以外の形で自ら挙手などを行い、積極的に授業に参加した。1名の学生が挙手することに対して、若干抵抗があるようだったが、この受講生は単語テスト(第2回から第14回までの授業冒頭で毎回実施:30点満点に換算)で、毎回ほぼ満点に近い成績(最終平均値:24.1)を残していたので、結果的に総合評価は、理想的レベルである80点を超える結果となった。他の学生から刺激を受けて、積極的な学習姿勢に転じることを期待して度々声かけなどのフォローアップを試みたが、自ら発表という形までなかなか至らなかった。しかしその反面、小テストなどの筆記試験で発表不足をカバーしており、本人もその点を認識したうえで別の面で授業に貢献しようとした形跡がうかがえた。このような結果から、個々の学生に対するアプローチを多角的にとらえ、彼女らにとって望ましい結果に導くことへの創意工夫の必要性やむずかしさを痛感した。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目が必修科目であることから、ほぼ全員が与えられた課題をこなした。到達度自己評価においても、(7)自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を見につけることができた、(8)コミュニケーション力や表現力を高めることができた、などの質問項目に対して、全員が「そうだと思う」を選択回答していることから、内容的妥当性には問題はないと考える。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、すべての項目において、全員が「そうだと思う」を選択していた。特に(3)説明は理解しやすいものであった。(5)口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた、などの質問には15人中10人以上の学生が「かなりそうだと思う」を選択していた。この結果には非常に満足している。ただ前述したとおり、中には発表することに対して、クラスの規模に関係なく、消極的もしくは萎縮してしまう学生がいるのも事実である。本人の性格的な面も影響していることも考えられるので、無用なプレッシャーをかけることなく、別の選択肢(今回のケースでは、小テストなどの筆記試験で貢献するという方法)を例示することで、学習意欲の維持向上を支援していきたいと考えている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

今回担当したクラスは、習熟度の高いクラスであったので、全体的な達成状況についてはおおむね評価できると考えている。しかしながら、今後は習熟度の高いクラスを担当する可能性もある。英文法は英語の苦手な学生にとっては、特にアレルギー反応が出やすい分野である。今後の課題として、文法に対するマイナスイメージを払拭するための取り組みを検討したい。具体的には、実際のコミュニケーションの場面で文法がどのように活かされているのか、どのような事項を優先的に理解しておく必要があるのか、などについてできるだけ数多くの具体例(英文や用例)を言及・提示することで、学生自らが文法の必要性や文法に対する興味・関心を抱き、主体的に学習を継続していけるような環境整備を整えていきたい。

学科	観光文化学科
氏名	石田 もとな

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
Grammar & Composition II (bクラス)	1	後期	必修	はい	18

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>重点を置いたことは、課題、評価基準の明確化である。初回授業において、成績評価方法、毎回の単語テストについて説明し、学生の理解を確認して進めた。それにより、毎回授業授業開始時には全員が着席し、テストの勉強をしているという態度が生まれたことは評価できると考えられる。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された					やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>全体的には、評価方法、課題を理解し真面目に取り組む学生が多かったため、高得点での単位取得者が多かった。しかし、小テストが成績に加味されることを認識していながら学習を怠る学生も少数ながら存在したため、成績にはばらつきが見られた。学生の自己評価によると、最もポイントが高いのは【自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲を持つことができた】【コミュニケーションや表現力を高めることができた】の平均値3.9であり、低かったものは、【自分なりの目標を達成した】【自分が学ぼうとしている分野において、的確に判断する力を得ることができた】【職業選択の参考になった】の平均値3.6であった。Grammarという科目の特性を考えると、判断力や職業選択には今のところ結びつくことは考えにくいため妥当な結果であると考えられる。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>DP5 技能表現という位置づけは妥当であると考えられる。文法は基礎的な知識の確認レベルで、作文の際は基礎的な文法をふまえてより自然な表現にできるよう取り組んだ。前述のように、学生の到達度自己評価では、【コミュニケーションや表現力を高めることができた】が、平均値3.9となっていることから妥当性は高いと考えられる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

当該授業に関しては、単語テスト、その単語を使ったフレーズの紹介や使う場面の紹介、英作文テキストを使用している英作文という流れが定着しており、進め方は特に問題はないと考えている。ただ、予習をしなかったと回答した学生は皆無であったが、復習をしなかったと答えた学生がいたことに関しては、授業の最後に復習のポイントを確認する等の工夫の余地があると考えている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

授業の質評価に関しては、全ての項目において平均値が4.2を超えており、中でも4.6と評価された項目が【説明は理解しやすいものであった】ということは、「分かりやすい説明」が表現力の向上につながったのではないかと考えている。次年度においても、さらに具体的かつ分かりやすい説明を行うことにより、表現力の向上に努めたいと思う。

学科	観光文化学科
氏名	林 裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
Grammar & Composition II (cクラス)	1	後期	必修	はい	19

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①英語の文法と作文の必修科目(同名の科目 I 前期)に続く英語の必修科目の一つである。英語が得意、好きである学生から、英語嫌いの学生まで全員に履修させること自体が課題である。幅の広い学生層に対応するために習熟度別クラスで授業を編成している。学習準備性に対しては、語彙調べノートを二週間前に提出させて、その中で最も詳しく仕上げたものを選び、B4二枚に印刷して、一週間前に配布し、それを使い予習してくるようにさせている。それを使い、テキストの読み込みが少しでも楽になることを意図している。授業の質評価の2「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであったが」、「少しでもそうでないと思う」以下の者がゼロ名だったことは、事前の学習の取り組みやすさを示している。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された					やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>学生の授業評価のアンケートでは、到達度自己評価で、(1)～(10)の全部の項目で、「②少しもそうでないと思う」以下を選んだ者は、(1)自分なりの目標を達成した」で2名、(9)職業倫理や行動規範について学ぶことができた」が1名であった。従って全体的には、達成されたと考えても妥当であろう。</p>					
<p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>DPは技能表現であり、カリキュラム上はこの科目は全く問題なく位置している。まさに英語とその学びを通しての日本語の表現力を確認する科目である。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

基本的な語彙力、文法力の英語力の基礎の基礎であり、それを行うための、中学高校の学びの学び直的な性格ももつ科目である。自主的な学習の量確保が必要であり、それはある程度は担保されていると言えるのではないだろうか。アンケートの「学習量の評価」でわかる実際の学生の動きは、予習中心の学習であることを示す。、「(1)授業に参加するために、1回30分程度の以上の準備をどのくらい行いましたか」に対して、「④(4, 5回以上が)より多い回答が、17名中の10名である。本来は、定着させるために、準備、授業、復習が循環型であることが望ましいのであるが、最後の復習が弱いような授業のやり方になっていたことがわかる。従って、復習をせざるをえないように、例えば課題を課すというようにする必要がある。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

中学高校では、文法という名の授業はない世代の高校生であり、コミュニケーション重視の英語教育を経て、大学にはいつて来ている学生達である。文法力は平均的には大変低い。文法はおもしろくないが、将来的には、習得できうる英語力の根幹を成すものであることを、授業を通して意識してもらえるように授業運営を企てていく必要がある。

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
映画で学ぶ世界遺産	1	後期	選択	いいえ	69

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>ただ単に映画で世界遺産を見るだけの授業としないために、さまざまな要素を授業に組み入れた。例えば、観光地の写真を見せたり、地図帳で観光地の場所を確認したり、政治や社会や文化のことについても解説をしたりした。旅行業務取扱管理者試験によく出題されることについては、特に詳しく説明をするようにした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	受講生のうちの40名が優または秀の成績であった。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>この科目は、他の国家資格関連科目と関係が深いものであり、学習の刺激ということを考慮すると、「意欲関心」をDPに含めるのが良いと思う。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に
お示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し
ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、イン
ターネット利用」学生の意見など

学生によっては欠席の多い者がいた。この授業中だけではなく、授業外においても学生と接触をはかって、励ますようにしたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

この科目が出来てから、学生の成績もだんだんと向上している。今後も謙虚に授業の方法において他の教員や専門書の指導方法を学んでいきたい。

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
初級中国語会話	1	後期	選択	いいえ	53

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①初級中国語会話授業は中級中国語や上級中国語教育へのスムーズ学習を図るための基礎教育として位置づけ、まず学習方法を身に付けてもらう。中国語の学習には不可欠な要素である「正確な発音、言葉遣い方、習慣表現、基礎文法、」のスキルの基礎を修得することを目指す。②正確な発音を身に付けてもらうために一人一人に発音練習や簡単な会話練習等を通して中国語の発音、文法の理解、会話能力を習得できることを確認した。③学生全員に毎日日記を書かせたり、発表させたりして、学習意識及び方法を高めるようにしてきた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された					
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	最終的な成績の平均値は87点であり、再試対象は0名であった。全員が標準的なレベルに達した、理想的なレベル(概ね90点以上)に達したものは全学生の半数以上となっていたのである					
<p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>DP、CPカリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性、本科目は専門基礎科目である。専門基幹科目の中級中国語や上級中国語、専門展開科目中国語通訳ガイド演習などの学習をつなぐ要の位置にあり、選択科目である。内容的に妥当であると考え。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質は評価において、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会がもうけられていた」の平均が3.8とやや低かったことが想定より低かったことも反省点である。次年度に向けては、練習方法を検討すべきである。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

初級中国語会話は基礎的知識の形成、学習方法については、概ね達成できたが、じっくり復習時間が少なかったため復習課題の提示などで改善を図りたい。

学科	観光文化学科
氏名	家根橋 伸子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
日本の歴史と文化地理 I	1	後期	選択	いいえ	30

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①日本の歴史・文化地理について概論的知識伝授の授業ではなく、学生自らがテーマを設定し、自ら調べ、それを他者に向けて発信する能力の育成に重点を置いている。</p> <p>②1年生ではまだ資料の適切性の判断が難しい。信頼できる情報源の指示、引用の仕方、資料をどう判断するかといった情報リテラシーの基本事項にも留意し指導した。</p> <p>③学生の中には明確な動機を持たない者が多く見られたが、能動的授業とすることで参加意識を高めた。</p> <p>④昨年度同様、プレゼンテーションに対するリフレクションシートをシェアすることでクラス内の協働意識を高めた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された			
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①知識理解科目として位置づけられているが、私自身は「知識理解」を学生の能動的行為であり、自ら調べ・言葉として表現することで達成される能力として捉えている。</p> <p>②その意味で内容的に妥当であると考えている。学生の到達度自己評価が高かったことはこの授業形態が知識理解に役立ったことの反映であり、妥当であったと考えている。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学生の評価から、授業によって日本文化・地理・歴史の知識理解が促進されたことがうかがえたが、学生の自律的取り組みに負うところが大きい授業形態であり、また一人ひとりの学生の真摯な取り組みが他の学生の取り組みの向上へとつながるグループ・ダイナミクスに授業の成否がかかっている性質上、特にコース初期においてより高いレベルの発表内容とするために学習のための情報利用についてよりきめ細やかな指導が必要であるとする。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

ほぼ授業の目標は達成できたと考えているが、上記のように学生の自律的取り組みに負うところが大きい授業形態であり、また一人ひとりの学生の真摯な取り組みが他の学生の取り組みの向上へとつながるグループ・ダイナミクスに授業の成否がかかっている性質上、より高いレベルの発表・考察を行わせるような促しをどう行うかが課題である。また、今回は受講者数が18名で、この人数規模であればグループ活動なども設定できたと考えている。ただし、開講前に人数が予測できないので、授業計画上悩ましいところである。

学科	観光文化学科
氏名	末廣 幸恵

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
TOEIC演習B	1・2・3	後期	選択	いいえ	67

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①TOEICを初めて受験する学生、および受験回数少ない学生を対象にしたクラスだったので、教科書はTOEIC BridgeとTOEICを併記したものを使用した。②語彙力を上げるために毎回、単語テストを行った。③TOEIC形式に慣れるために模擬試験を導入した。④リスニング力を上げるために、テレビおよびラジオで放送された発音練習およびリスニングのテクニック編DVD等を導入した。⑤リーディングに関しては、時間制限内に問題に取り組む練習を行うと同時に、文法解説等を細かく行った。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された				

<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績の平均値は75点で、再試対象者は7名であった。標準偏差数はSは28名、Aは14名、Bは5名、Cは9名、Dは7名であった。授業内で小テストやTOEIC模擬試験を行い、リスニングの練習、リーディングの文法指導を集中的に行った。その結果、高得点者が全体の約7割を占める一方で、合格レベルに達することのできない学生が約1割程いた。これは資格試験の準備段階として授業に臨む学生とそうでない学生との熱意の差が成績に反映された結果と思われる。DP1においては「自分なりの目標の達成」「知識の確認、修正、新たに得る」の項目では大半の学生が概ね良好な評価を示している。しかし職業倫理や職業選択の項目において高い評価を示した学生が居る一方で、約2割弱の学生が低い評価を示した。これは1年生、2年生の選択科目であるため、資格試験の重要性に対する認識や関心に個人差があったためと考えられる。将来の職業選択や進路決定の際に、TOEICスコアや英検などの資格が選択決定の目安や一助となることを学生に指導する必要があると感じた。</p>
---	--

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CPカリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性： 将来ビジネスで使える英語力として、TOEIC500点を目標とする基礎固めを行う。資格試験の受験スキルに止まらず、具体的にある程度の内容ある英語を読み、聞き、理解できる基礎作りを目的とするなど、本科目に相応しい内容となっていることから妥当性は認められる。②DP、行動目標からみた内容的妥当性： 授業内容から学生には馴染みの薄いビジネス表現と速読と即答が要求されたために、DPの到達自己評価は概ね平均値が多く、あるいはこれを下回る評価もあった。図書館、インターネット等を活用し、情報収集が必要であることはシラバスにも明記されているが、これらを活用した学生が皆無であった。この点は、シラバスを参考にしないで、受講していることが原因と思われる。オリエンテーションにおける、授業内容の説明の徹底化を図る必要性を感じた。また学期末の試験結果と比較して、到達度自己評価が全体的に低い傾向にあるのは、教科書の難易度、内容への関心度、課題量、理解度等の要因が考えられる。さらに学生各人の英語力や興味にもばらつきがある可能性が考えられる。しかし、全般的にクラスの雰囲気は非常に良く、真面目に英語学習に取り組んでいた。以上から内容的妥当性には問題がないと思われる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

①授業の質評価： 予習の徹底化と提出の義務化を図ったために、大多数の学生が比較的高い評価を挙げている。予習に力を入れた指導により語学学習における予習の重要性を認識できたことがこの評価につながったと考えられる。発表や質問の項目で低い評価を示した学生がいたが、本科目に対する期待の高い学生にとっては、学生数の多さから、質疑応答の機会が少なかったことに満足度が低下したと考えられる。②学習量の評価： 約6割の学生が予習に時間を充てているが、残り3割強の学生がほとんど予習をしていなかったことに驚いた。また授業の記録をしていなかった学生が約2割弱いたが、毎回小テストを行い、授業内で教科書書き込み式で練習問題等を行っていたので、学生評価の結果には矛盾を感じた。③学修のための情報利用、図書館利用： シラバスの記載を約6割の学生が参考にしていなかった。TOEIC試験対策、および準備の授業ということで、選択科目にもかかわらず、シラバスを参考にしなかった可能性が考えられる。オリエンテーションにおいて、シラバスの内容を確認し、授業の進め方を確実に伝える必要性を強く感じた。また図書館利用者も2名にとどまり、多彩な内容を英語で学習するためには情報収集も大切な語学学習の一つであることを指導する必要があると感じた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

TOEIC演習Bという位置づけから、学生の受講動機は「単位数を確保する」より「資格取得に必要である」「関心のある内容」が上回った。このことから、学生のTOEICや英検などの資格対策に対する関心の高さが分かる。それだけに学生の授業に対する期待度も高くなると思われる。今回は語学学習としては学生数が多かったために、リスニングや模擬試験などでの実施にあたり問題がなかったかを検討する必要性を強く感じた。

学科	観光文化学科
氏名	木沢 誠名

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
観光産業論	2	後期	選択	いいえ	51

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>観光は、近年の我が国の成長戦略上で重要な分野であるため、産業論の前にまず観光政策論から講義した。政策を実現するのが事業であり、事業は産業を通じて目的を達成する。そういう順序で講義を展開した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された				
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	毎回の授業のコメントカードでわかる。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>前々項のとおり、近年の我が国の重要な成長分野であり、観光を学ぶ学生としてははずせない科目である。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

特になし。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

特になし。

学科	観光文化学科
氏名	家根橋 伸子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
日本語B	1	後期	選択	はい	2

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①半年後に帰国する留学生対象であることを踏まえ、能力試験までは日本受験の日本語能力試験N1に合格すること、その後は修了レポートを作成することを重点的に指導を行った。</p> <p>②受講生は中国人交換留学生2名のみであったので、プライベートレッスンの要素も取り入れた。</p> <p>③今年度の留学生の日本語能力が特に表現能力において想定されていたよりも低く、またコミュニケーション意欲も高いとは言えなかったため、その点に配慮し時間配分などを変更した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された					やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①能力試験N1には合格できなかったが、開始時より得点は向上した(得点率50%程度から60%程度へ)。</p> <p>②文章・口頭能力ともに十分ではないが本人たちの当初のレベルに比べ改善された(ともにA判定)。</p> <p>③受講者の到達度自己評価でも、DPの全ての項目がポジティブ評価であり、ほぼ「割とそう思う」あるいは「かなりそう思う」と回答している。</p> <p>④レポート作成に向けた活動として図書館等の利用も進められていた。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目はDP上では技能表現に位置づけられている。受講動機に配慮し、日本語能力試験問題を使用しそれを通して表現上の技能を獲得することをめざした。受講者の到達度自己評価でもポジティブ評価であり、内容的に妥当であったと評価できる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

受講者数2名の留学生であり、昨年ともレベルの異なる日本語レベルであった。ただし、今年度は二人のレベルが同程度であり、昨年度(他講師)よりよりレベルに合わせた対応ができた。
日本で留学生を送りながら、後期になっても依然二人で過ごしており、日本語を使用する機会が少なく、また本人たちの積極性も見られなかった。このことが日本語能力の伸びが顕著でなかった一因があると思われる。週1回の授業だけではなく、留学生生活全体の中に位置づけた日本語教育の設定が望まれる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

週1回の非常勤講師としての授業はできる限りのことはしたつもりだが、上述のように、授業外の日本語活動との連携が課題である。

学科	観光文化学科
氏名	木沢 誠名

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
観光フィールドワーク	1・2・3・4	後期	選択	いいえ	19

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>課題解決型授業として展開した。具体的には門司港と小倉中心市街地を取り上げ、地域の抱える課題を見つけ、その解決方法をフィールドワークの手法を用いて考え、発表させた。観光分野のフィールドワークについての文献は数少ない。その中で、私が非常勤講師をしていた和歌山大学観光学部の教員陣が執筆したテキストがあり、これをもとに講義を行った。また、取り上げた2地域のフィールドワークを土日に2、3回課した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された					
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>フィールドワークはキャンパスを出て行うため、それを明記したシラバスをきちんと見て履修した学生には、大変興味深かったようである。一方で、よく見ずに履修した学生は、土日のフィールドワークが課されていることが重荷であった。それは、毎回授業のコメントカードの記述でわかる。フィールドワークの手法は、観察、ヒアリング、アンケートの3つの手法を教えた。特にアンケートは、アンケート内容や選択肢と、それらの統計処理(エクセル)を教えるのであるが、エクセルを使いこなせない学生が多く、そのことに時間を割いた。また、発表はパワーポイントを使用するのであるが、これも使いこなせない。情報処理系の授業を履修していない学生が多いためである。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>課題解決型授業は、大変重要。また、フィールドワークを実施する手法や、まとめ方、発表の仕方など大学生として身につけるべきスキルを多く含み、これらが身につかないと目標が達成できない。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

前項のとおり

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

前項のとおり

学科	観光文化学科
氏名	岩井 朝子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
TOEIC演習D(Aクラス)	1・2・3	後期	選択	いいえ	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①予習に対して復習をしない学生が多く見受けられたので、授業の初めに前回の復習をして、記憶を定着させるようにした。</p> <p>②パワーポイントを使用し、視覚的に、またゲーム感覚で単語を暗記させるようにした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された					
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①目標としてTOEICの点数を上げることがはっきりと掲げられているので、その技術や知識の修得に特化させた結果、これらの技術を向上させることができたと自己評価した学生が多かった。</p> <p>②TOEIC演習Dの到達度自己評価のDP項目に、職業倫理や行動規範について学ぶことができたという項目があるのは、なぜなのか。回答のしようがないと思う。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>資格取得・就職に関する科目という理由で受講する生徒が多く、内容的妥当性に問題はないと思う。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

資格取得試験に近い授業なので、自分の意見を思考し、話し合うという機会を与えることは、あまりできなかったが、今後は、学生同士で答え合わせをし、わからない部分を説明するといった学生主体の授業形態にしようと思う。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

シラバスを参考にして計画的に学習に取り組んでいる学生は少ないように思うが、宿題に出されたことは、比較的きちとやってくるので、自己到達度評価も高くなっているようです。図書館やネットの利用が全くないので、ネットを活用した英語力アップについて指導していきたい。

学科	観光文化学科
氏名	家根橋 伸子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
日本の歴史と文化地理Ⅱ	2	後期	選択	いいえ	60

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①日本の歴史・文化地理について概論的知識伝授の授業ではなく、学生自らがテーマを設定し、自ら調べ、自分の視点から考察し、それを他者に向けて発信する能力の育成に重点を置いている。能動的授業とすることで学習者の自律性を重視した。</p> <p>②「日本の歴史と文化地理Ⅰ」では対象学年の1年生ではまだ資料の適切性の判断が難しいと考え信頼できる情報源の指示、引用の仕方、資料をどう判断するかといった情報リテラシーの基本事項にも留意し指導したが、本講義「日本の歴史と文化地理Ⅱ」は2、3年生対象であり、初回で確認するにとどめた。</p> <p>③昨年度同様、プレゼンテーションに対するリフレクションシートをシェアすることでクラス内の協働意識を高めた。</p> <p>④2年生と3年生が混在していたため、プレゼン及び振り返りがスムーズにいくよう指導を心掛けた。</p> <p>⑤自由記述でもニュースを見るようになったとの意見があり、授業外での自律的な学習習慣形成につながっていることがうかがえた。</p> <p>⑥予想より受講者数が多く、計画通り発表主体の授業形態とするか迷ったが、目的達成のためには必要と判断し、発表主体の授業形態とした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された	やや達成された		
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①授業評価ではいずれの項目においてもポジティブな回答が多いものの、1～3名、各項目でネガティブ評価が見られる。何らかの不満を抱いていた学生がいたという点で、それを授業内でケアできなかったことは今後の課題である。このため「やや達成された」とした。</p> <p>②多くの学生が自分自身のテーマを設定し、複数の資料を比較し、それをもとに自身の意見を述べられていたが、一部の学生にはそれが不十分である者も見られた。それによってプレゼンテーションの出来が大きく異なっていた。また、評価の一部となるリフレクションカードの記述もワンパターンの学生も少数あり、それらの学生はC評価とした。この結果、S評価10%、A評価40%、B評価30%、C評価10%となった(欠席による不可者あり)。</p> <p>自ら調べ、比較し、考察するという授業の特質上、授業外での学習量も確保されており、情報利用という点でも効果があったと考えている。(ただしそれが図書館利用には結び付いていない)。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①本授業は「思考判断」の科目としても位置付けられており、調査・比較・考察・提示・再考察(レポート)という過程自体が授業形態自体がそれに沿ったものとなっている。</p> <p>②授業評価では、前述のように、1～3名、ネガティブ評価の学生が見られるが、残りの40名以上はプラスの到達度自己評価を行っている。このことから妥当であったと考える。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

①同様の形態の授業を毎年行っているが、毎年受講者数の増減があり、また当然のことながら学生も多様であり、その年のクラスに合わせてどう授業を運営していくか悩まされる。範疇としてはアクティブラーニングにはいる学生の自律性を軸とする授業法のため、学生自身がそういう授業形態に慣れていなかったり、なじめなかったり、自律的に学習しようとする意欲のない場合、それをどう促し、能力の育成へつなげていくのが難しい。今後も検討していきたい。

②1～3名のネガティブな評価の学生(到達度についても授業の質評価についても)の意見をどうすくい上げていくかも検討課題である。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

①総体的に授業評価アンケートの結果は悪いとは言えず、到達度自己評価、授業の質評価共に「そう思う」が多い。ただ、45名の回答者の内、1～3名のネガティブな評価を行っている学生がいることが非常に気になるところであり、より満足度の高い授業を目指したい。

②特に今年度のように個人発表形式を取るにはぎりぎりの人数の場合、授業の質と効果をどう保持していくか、今後の課題として検討を進めたい。

学科	観光文化学科
氏名	川上 耕平

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
国際関係入門	2	後期	選択	いいえ	29

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①この講義は、そもそも国際政治を理解するために必要な基礎知識を理解してもらうことが目的であり、歴史的事項の理解に重点を置いた。2年生以上が対象であるが、初回の講義で調査したところ、社会科学系の授業(日本史、世界史、政経など)を履修したことのある学生が少なかつたため、高校で習うような初歩的な知識もきちんと説明した。</p> <p>②「学修準備性」という点に関しては、教科書を指定し予習をすることの重要性を強調した。そして、テキストではわかりにくいところを実際に補足しながら説明をした。しかしながら、予習よりも復習のほうに重要性がある講義というものが、いつの時代にも大学にはあり、本講義がそれに該当することを講義の冒頭で強調した。</p> <p>④今年度初めて担当する講義であったので、昨年度と比べての改善点というは示すことができないが、来年度も「国際関係入門」を担当させていただいたので、改善すべき点は改善するつもりである。ほかに担当していた「現代国際事情」や「国際社会論」で評判がよかった点も取り入れたい(毎回、コメントカードを書かせていたの、受講者のリアクションは把握している)。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	達成された	やや達成された	やや達成された		
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な試験の平均は83.2点であり、3名以外が80点以上に達していたため、DP1については、「達成された」を選択した。目標別に見ると、この講義は、観光文化学科などの学生が、他講義を聴く際に必要な学際的知識、あるいは社会に出て観光に関する職業に就いた際の一般常識を提供することにあり、採点した試験の点を見ても、「知識理解 (DP1)」という項目は達成されていると考えている。</p> <p>学生による授業評価においては、知識理解についての満足度を示すようなコメントがもっとみられればよかったのではないかと反省する部分はあるが、もう少し学生の関心を喚起するような視聴覚資料などを利用するなどしたほうがよかったのかもしれない。</p>					
* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。						
<授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は、2年生から履修できる科目であるので、基本的な知識の教授がメインとなる。観光を学ぶ学生にとっては、当然、国際政治的知識は不可欠のものであるが、外国語を読む講義にとっても必要な知識を提供している(その意味では、学科横断的な履修も可能であればよいのではと思うところがありますが…)。なぜなら、外国語は文法や単語を詰め込んだだけでは解釈することはできず、多岐にわたる分野についてそれなりに知識をもってないと、外国語に対する能力は向上しないからだ。今回のカリキュラム改訂で「国際関係入門」という講義が開講されているのは、そうした事情を外国語を教授されている先生方が理解されていることの証左であると考えている。来年度もこの講義を担当させていただくが、これまで担当させていただいたほかの講義で評判がよかったテーマをも組み込んで、最良の内容を組み立てられるようにしたいと考えている。</p> <p>②DP、行動目標からみでの内容妥当性 成績を見る限りでは、DP1-1つまり知識理解は、それなりに達成されていると考えられる。</p> <p>③まとめ 以上から、内容妥当性については、問題ないと考えている。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が設けられていた」の平均が低かったが、この授業は講義形式であり、上記の目的は、専任教員が開講している演習科目がその任を果たし、もっぱら基礎知識の教授に重点を置いた。ただ、受講生の人数が29名ということもあるので、毎回の講義で、講師が発問し、受講者が答えるというスタイルはできるだけ維持した。その場合の発問も、「知っているか、知らないか」という知識の有無の確認ではなく、近年の歴史学で言われ始めている「反実仮想 counter factual」の手法を用いた。これは、「では、もし実際に●●でなかったら、どういう結果が起きると思うか」と問うことによって、知識を総動員させ、単なる空想にとどまらない、歴史の推移を推測するものであるが、残念ながら、この方法に基づいた講師と学生の対話がうまくいったとは言いがたいといえよう。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

国際関係を理解する上での基礎知識の教授という点では、目的は達成されたと思われるが、受講者参加型というかたちの講義は、やはり専任教員の少人数による演習にゆだねられるべきであり、限られた時間の中では、そうした役割分担が必要であると考えている。
また、実際に講義を行ってみると、社会科学系の科目を履修したことがない学生も多く、入念な導入的説明が必要となった。それはときに中学校の知識の確認にまでさかのぼることもあったため、シラバスどおりのスケジュールを消化できない場合もあったが、学生がわからないまま一方的に進めることは、その後の講義の進捗にも大きく影響するため、受講者のレベルにあわせることに意を尽くした。
来年度の「国際関係入門」は、(1)受講者が楽しんで必須知識を得られること、(2)観光文化学科の講義に役立つ、あるいは外書講読的な講義で役立つような知識を提供すること、などを意識したい。

学科	観光文化学科
氏名	James Hicks

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
英文講読Ⅱ(Aクラス)	2	後期	選択	いいえ	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>For this course the students were assigned the following textbook: Reischaur, E.O. (1990). Japan: The story of a nation. Chapter 12 – World War II. The supplementary textbook was 日本的事象英文説明300選. Students engaged in close readings of the required text combined with multimedia presentations to expand and enhance understanding of the content.</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された					達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	Students were assessed on 4 criteria (passive participation 30%, active participation 38%, homework 12%, and a final test 20%). Students grades varied widely from the 90s to the 60s. This was primarily due to attendance.					
<p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>Students were enthusiastic, positive, and willing to learn. This positive outlook contributed to a high level of participation and increased understanding of the complex content. Opportunities to build reading skills (DP5) were provided throughout the course with most students taking advantage of the opportunity to explore this turning point in Japanese and world history. Responses from students on their final self relection were very positive, though the textbook level (US undergraduate required textbook) was a bit of a challenge.</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

The curriculum requirements and the required textbook have been changed for the next academic year. This is standard for this course with regular changes in content occurring over the past number of years. Due to the current loosening of the requirements for textbook selection, a new text focused on general reading skills will be selected for the next academic year.

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示してください。

With a new textbook, the course will focus more on reading skills at a level suitable to the students. Opportunities for developing both strong reading skills and critical thinking skills will be provided in a dynamic and flexible classroom environment.

学科	観光文化学科
氏名	林 裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
英文講読Ⅱ(Bクラス)	2	後期	選択	いいえ	2

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>履修者が二名であることで、きめ細かい指導が徹底できるようにした。例えば二桁の受講生がいたら、事前の予習調べの提出ツ物は、隔週に担当とできるが、二人だけであり、毎回の提出と求めることとなった。学習準備性は、これと関連しており、事前の準備を提出物で確認できるようにしている。授業動機は、関心のある科目であるが、100%であり、確かにシラバス内容からすると非常にハードルが高い科目であり、動機が強いことが必要であることが確認されている。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された					やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	成績は、C(良)100であった。受講生が二名だけであり、二名がCである。					
<p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>2015年後期時点では、2014年度入学とそれより前の入学生が対象であった。たまたまこの名の学生は、2014年度入学生であり、選択科目としての受講である。ここでは2014年度入学生に焦点を置いて、記載する。受講動機は、「関心のある内容である」が、2人で100%である。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業中から問われていたのだが、とにかくテキストが難解すぎるとのことであった。この科目担当の他の教員からも難解すぎる、はたして授業効果があるのかが授業担当者としてもはなはだ疑問に思うとのことであった。これは、習熟度別の授業を一年次前期から、二年次後期まで英語の必修科目を展開したカリキュラムから、二年次は選択科目に変更となった新カリキュラムの初年度であり、旧カリキュラムのやり方をそのまま継続していたことにも原因があった。次年度は学生の実態に即した授業内容へと変更を予定する。そのためには、まずはテキスト選定を学生に合ったものとするを英語担当の専任教員間で合意をすることから始める。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

受講生二名からの授業評価のアンケートは、その二名ゆえに極端に出る。課題としては、せっかくの開講科目であり、もっと多くの受講生が受講できるように、学生の実態に即した授業内容にして、履修者をとにかく増やすことを目指したい。二年生以上を対象とする授業でreadingを鍛えるものはこの科目ぐらいしかないので、多くの学生の受講を促せるような授業計画で学生にアピールをしたい。

学科	観光文化学科
氏名	野中 誠司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
英文講読Ⅱ(Bクラス)	2	後期	選択	いいえ	2

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は選択科目であり、シラバス等の内容を参考に受講するというのが基本的な受講スタンスである。今回の受講動機でも、それが反映された形で、関心のある内容である、さらには教員に勧められた、の項目が選択されていた。実際、開講初日と第2回目の授業とで、受講生が完全に別の学生と入れ替わっていたので、授業内容を判断して、未受講を選択したものと思われる。少人数のクラスでもあったので、毎回学生に担当範囲を発表してもらい、その内容に対して教員がコメントおよび補足和訳を行うという形式で授業を実施した。日本の歴史を英文で理解するという趣旨に基づいて、あらかじめ教材が指定されていたので、歴史的背景についても毎回の授業で適宜言及しながら、丁寧な解説・説明をくわえていくことにも配慮した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成されなかった					やや達成されなかった
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>内容に関心をもって受講したにもかかわらず、教材と受講生の英語習熟度とのギャップが非常に大きかったため、そのギャップを埋めていくという改善がなかなかみられなかったことがその主たる要因である。具体的には、メインテキストの確認テストを開講期間中に4回実施したが、その結果が50点満点中12.5点であった。長い英文や難解な単語が頻出するために、「保険」として英和辞典の持ち込みを許可したうえで実施したが、辞書を有効かつ適切に使用せず訳している箇所が散見され、教材のレベルと受講生の英語力・辞書力との間でミスマッチが生じていることが得点上でも露呈した。しかしその一方、伝統文化や習慣など日本の事象に関する平易な英文のディクテーション形式による小テスト(授業期間中4回実施:30点満点)では、平均値が24.8と非常に良好な結果を得ることができた。この結果が最終評価の得点上乗せに貢献した面が大きい。</p>					
<p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は選択科目であり、なおかつ日本の歴史を英文で理解していくという目的の授業であった。受講生の到達度自己評価においても、(2)知識を確認、修正したり、新たに得ることができた、(3)事象(自然、人、社会、歴史など)を理解する視点や考え方を得ることができた、(7)自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた、等の項目に対して全員が「そうだと思う」を選択しており、CP、カリキュラムマップ上の位置づけ、およびDP、行動目標の点から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、(3)説明は理解しやすいものであった、に対して、1名が「全くそうでないと思う」に回答していた。これは担当範囲として割り当てた英文の分量が、当該学生の英語力のキャパシティを超えていたために、理解の「消化不良」を起こしたのが原因ではないかと考えている。少人数とはいえ、1名の受講生だけに時間と労力を割くことは、クラス運営の観点からも非効率的であることは否定できない。改善策として、一人あたりの担当分量を減らし、開講期間中にカバーする範囲を当初の予定よりも縮小する、場合によっては教材そのものを平易なレベルに変更するなど、大胆な措置を講じることも有効な改善選択肢として、今後検討していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

最終評価は基準点をかろうじてクリアする結果だった。これは、サブテキストから出題した小テストおよび発表等による授業貢献度(平常点)による上乗せが奏功した結果である。しかしながら、メインテキストを理解することが授業の主たる目標なので、今後は指定教材とするのではなく、受講生のニーズや習熟度に十分配慮しながら、担当教員がハンドアウトを準備して事前に配付するという形式なども有効な改善・対応策と思われる。また、日本の歴史を英文で学ぶという形式は、観光文化学科の主旨からも重要な部分でもあるので、英文とは切り離して、大学レベルでの日本史、世界史のように独立した科目をカリキュラム・プログラムに組み込み、歴史と英語とが相乗効果を生むような科目編成も将来的には必要ではないかと考える。

学科	観光文化学科
氏名	木沢 誠名

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
旅行産業論	2・3・4	後期	選択	いいえ	46

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>「観光産業論」とリンクして履修することを勧めている。観光産業から旅行産業を抽出した内容となっている。我が国において、旅行産業は「旅行業法」の規定で、旅行商品を造成できる唯一の産業となっている。その他の観光産業は、需要を創出する手段を持たない。そのため、旅行産業は観光産業の中心的地位にしていることができる。旅行産業の仕組み、現代的課題を説き、地域活性化のためには観光が大きな力を発揮できることを示し、旅行産業の社会的使命を講義した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された				
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	毎回の授業のコメントカードから判断した。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	前々項のとおり
--	---------

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

特記すべきことはない。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

特記すべきことはない。

学科	観光文化学科
氏名	野中 誠司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ビジネス英語入門	2・3・4	後期	選択	いいえ	33

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>極めて実務的な側面の強い学習領域であるのと、学生が卒業後に実際にふれる機会が想定されることを考慮して、ビジネスの現場を反映した英語を提供することに重点をおいた。また、教科書に沿って網羅的に授業を進めるのではなく、自己のビジネス経験や最新のビジネストレンドなども織り交ぜながら、単に英語のみならず、ビジネスという分野を多角的にとられられるように授業の展開に工夫をこらした。具体的には、ビジネス英語を学習するだけでなく、それが実務ではどのように活用されているのか、またその単語に関連した派生語なども一緒に紹介することで、学生が効率良く学習できるようにこまめな板書を実践した。さらに学習した成果が確実に受講生に定着しているかを数値的に確認するために、開講期間中2回小テストを実施した。出欠に関しては、ルールを初回の授業で説明したうえで、無断欠席や遅刻をくり返すと、学習に著しく支障をきたすだけでなく、他の受講生との学習「格差」が広がるおそれがあるとして、15回すべて出席することを求めた。くわえて、無断欠席や遅刻によって、前の週で獲得した貢献度のポイントが消えるおそれがあるなど、平素の学習意欲や態度が結果に直結する点も周知徹底した。また、今回は2学科合同クラス編成のため、受講者が50名を超える形となったので、授業の運営・進行にも注意しながら、さまざまな質問に答えてもらう形で頻りに指名を行い、90分間学生の集中力や緊張感の維持に努めた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>まず、出席したうえでの授業貢献度(配点:20点)という項目を設定した。これは出席が大前提の評価項目だが、この点に関しては、大半の学生が積極的に発言を行い、クラス全体が活気あふれる授業となり、非常に有効だった。発言の順番などの指名に関しては、特定の学生に偏向しないように注意をしたが、結果的にほぼ全員が何らかの形で発言をしたため、この項目の平均値は16.1だった。これは欠席をする学生がほとんどおらず、欠席回数も1～2回程度であったことも関係している。小テスト(配点:15+15=30点)に関しては、1回目の小テストでは15点満点中8.9点と正答率が50%を多少上回る程度であったが、第2回の実施には10.5点まで上昇した。具体的には、昨年と異なり、1回目から2回目の小テストで大幅にスコアが伸びた学生が多かった点である。昨年は学生間の点数差が大きかったが、今年は2回目で全体的な底上げが結果として見てとれた点である。定期試験(配点:50点)に関しては、こちらから形式などを事前に説明していたことが奏功し、平均値は69.3点であった。</p>					
<p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>ビジネス英語においては、業種・業態に関係なく共通して必要な単語などが数多く存在する。そうした単語が実務の現場でどのように使われるのか、ということを知識として理解することが最も重要である。受講動機において、回答者の80%が関心のある内容であるという項目を選択しており、その結果、到達度自己評価における(2)知識を確認、修正したり、新たに得ることができた、という項目に全員が「そうだと思う」の項目を選択している点、また数値的な根拠として、小テストが2回目の得点が1回目のそれよりも大幅に上昇している点、定期試験の平均点が70%近くを獲得している点などから、内容的に妥当であると考えられる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学生からの自由記述で、「挙手したにもかかわらず気づかれないことがあった」などの指摘があった。授業の質評価の項目においては、(4)授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた。(5)口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた、という項目に対して、全員が「まあまあ」「わりに」「かなり」そうだと思うを選択していたが、自由回答にこのような記載があった点を踏まえると、授業の運営方法にはまだ改善の余地があると考え。2学科合同によるクラス編成であったため、クラス全体を統率しようという意識が強すぎた点も原因として否定できない。また、一部の学生との間でコミュニケーション上の齟齬も生じた点も自由回答で指摘されており、この点も真摯に受け止めたい。授業中の発表や教員とのやりとりは、学生の学習意欲に直結する部分である。したがって今後は、受講生のモチベーションを低下させることなく、適宜、指名についてのルール説明を徹底し、学生によってはある一定の時間において傾聴するなどのより丁寧な双方向性を重視した対応を採ることで、バランスのとれた授業を展開していき、クラス全体における英語力のボトムアップを図っていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

DPI知識理解に対する評価を全員がその成果があったと判断した点から、最も重要な目標であるビジネス頻出の単語の習得に関しては、その目標は達成できたと考えている。ただし、開講期間中での知識理解の定着強化を図るという点が徹底されていなかった。この点に関しては、学習したものの中から、より優先度の高いものを選択して、集中的に再度説明を行い学習定着を図る、などより柔軟に対応していきたい。指名スタイルについては、おおむね評価が良好だが、指名の方法や指名した際のやりとりなどについてのルールづくりを明文化もしくは適宜口頭で説明するなどして、学生のニーズやモチベーションキープさらにはモチベーションアップに結びつくような授業準備および授業展開を今後図っていきたい。

学科	観光文化
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
アジア観光文化地理	全学年	後期	選択	いいえ	54

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>1. 受講動機をみると「単位数を確保する」58.3%、「関心のある内容である」58.3%となっております。学生の関心を引き出し、多くの学生に履修してもらえるように、シラバスの作成に工夫する必要があると思われる。</p> <p>②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。</p> <p>③演習の7回目に小テスト(レポート作成と発表)を行い、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された		やや達成された	
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は83点であり、再試験対象は0名であった。全員が理想的レベルに達したと思われる。目標別に見ると、知識理解に関しては51%、意欲関心に関する問題は50%であった。それぞれの目標がやや達成されたことを示している。学生による授業評価においては、知識理解、意欲関心の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。図書館、インターネットの利用に関しては、それぞれ、14%、27%で、図書館とインターネットの利用については、さらに指導することを考えている。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から知識理解、意欲関心に関する達成度がある程度のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「アジア観光文化地理」であるが、「海外研修」をつなぐ要の位置にある。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考える。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、評価が良かったが、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の平均が2.9と低かった。次年度に向けては、学生が積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていききたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

「海外研修」をつなぐ要の位置にある「アジア観光文化地理」であるから、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。
また、学生の知識理解、意欲関心を高めるために、授業中に話し合う、発表を行う時間を増やすようにしたい。

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
上級中国語	2・3・4	後期	選択	いいえ	24

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>専門基幹科目にあたる上級中国語は観光文化学科における教育の骨格となる分野の修得を深める科目である。上級中国語の力の養成に重点を置く。具体的には中国語の会話、基本的文法を学習した上に、基礎的な理解能力、表現能力などの総合能力の養成を目指した科目である。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された					
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は79点であり、再試対象は0名であった。全員が標準的レベルに達したが、理想的なレベル(概ね85点以上として、試験を作成)に達したのは、7名となった。学習による授業評価において「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の平均3.6と低かった。これは教科書がやや難しいことが反映されたことである。次年度に教科書の選定を見直す必要があると考える</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについて本科目は専門基幹科目であり、中国語通訳ガイド演習に繋がる科目である。学習者の総合的な視野と専門分野の理解に応えるから、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価においては「授業中に自分の意見を纏める、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の平均3.9、「説明は理解しやすいものであった」の平均3.7とやや低かった。教科書がやや難しいことや、復習予習の時間が想定より少なかったことが原因であると思われる。次年度に教科書の選定を見直したうえで、学生に事前に予習、復習を徹底するように促したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

専門基幹科目にあたる本科目の位置付けから、基礎的知識の形成については概ね達成できたが、表現能力、総合応用の面では課題を残した。じっくり復習時間が少なかったため、復習課題の提示などで改善を図りたい。

学科	観光文化学科
氏名	木沢 誠名

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
旅行商品企画論	2・3・4	後期	選択	いいえ	34

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>課題解決型授業である。北九州または学生の出身地の「着地型観光」商品を作成し、それを発表する授業とした。そのためには、設定した地域のフィールドワークが不可欠であり、1年次に履修した「観光フィールドワーク」の手法を用いて実行させた。履修していない学生のために1コマを割いてフィールドワークの手法を説明した。また、商品化には「マーケティング」の知識が必要であり、他のマーケティングの科目を履修していない学生のために、その基礎的知識も講義した。社会人基礎力醸成に役立つ授業となっている。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された				
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	発表を聞いて判断した					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>前々項のとおり。</p>
--	-----------------

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

特記すべきことはない

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

特記すべきことはない

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
イベント・テーマパーク論	2・3・4	後期	選択	いいえ	40

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本年度からの開講科目のためあり、ツーリズムおよびビジネスの両コースに関連する科目である。そのためシラバスでもマーケティング関連科目、観光関連科目の積極的履修、あるいは履修していることを推奨している。この科目で両コースを選択している学生にとって関心のある科目のため、イベントの視点から地域活性化と観光の視点からのテーマパークを理論的、実証的に理解することを主眼としている。授業テキストは特に用いず、担当教員の作成した配布資料で進行しているため特に予習は課していない。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	アンケートの到達度自己評価と授業の質の結果によると上記目標達成状況は「やや達成された」が妥当と考えられる。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>アンケートの受講動機と学習到達度の自己評価(1)(2)からDPとの内容的妥当性はありと考えられる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

この科目は本年度開講科目であるため、受講生のレベルが見えず、毎週軌道修正しながら授業進行したが、内容的に外部講師授業やワークショップ形式授業を増やし、学生が積極的に学ぶことが可能な授業環境づくりの検討が必要である。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

目標はやや達成されたと思われるが、科目性格上、理論の理解のみならず外部講師授業、ワークショップ等の導入による実践的理解の向上を目指す。

学科	観光文化
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
基礎演習 I B	2	後期	必修	いいえ	67

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>1. 受講動機をみると「必修科目である」87.1%、「単位数を確保する」16.1%、「関心のある内容である」6.5%となっており、履修者が「基礎演習 I B」では、何を学ぶかについて、まだよく理解できていないことが分かる。シラバスの作成に工夫する必要があると思われる。</p> <p>②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。</p> <p>③演習の7回目にレポートを提出してもらい、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された		やや達成された	
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は87.2点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的レベルに達したと思われる。目標別に見ると、知識理解に関しては97%、思考判断に関する問題は95%、技術表現に関しては95%であった。それぞれの目標がやや達成されたことを示している。</p> <p>学生による授業評価においては、知識理解、思考判断、技術表現の観点での自己評価に差がないことが示された。図書館、インターネットの利用に関しては、前者も後者も50%未満となっているが、図書館やインターネットの利用については、さらに指導することを考えている。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から知識理解、思考判断、技術表現に関する達成度がある程度のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「基礎演習 I B」であるが、「専門演習科目」と「卒業研究科目」をつなぐ要の位置にあり、必修である。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、各項目については、評価が良かった。特に「説明は理解しやすいものであった」「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の評価は良かった。次年度に向けては、学生がもっと積極的に参加できる機会・環境を作っていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

「専門演習科目」と「卒業研究科目」をつなぐ要の位置にあるとの位置づけから、基礎的知識の形成については概ね達成できたが、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。
また、学生の知識理解、思考判断、技術表現の力を高めるために、授業中に課題を行う時間を増やすようにしたい。

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
基礎演習B(Aクラス)	1	後期	必修	いいえ	36

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>初年度次科目であるため現代社会および企業より大学生が求められている「社会人基礎力」の養成に重点をおいた。必修科目のため授業参加率は当然良好であった。特に予習は課せずに、時間内にレポートを仕上げるという授業内容とし、授業時間内の緊張感の向上と課題への取り組みへの集中度向上を目指した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	知識理解(DP1)、思考判断(DP2)、技能表現(DP5)については、到達度自己評価の評価により、やや到達が妥当と判断する。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>アンケートの学習到達度自己評価では目的をやや達成しているため、DP、CPとの内容妥当性もやや評価できるとする。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学習量レベルが低いと、課題提出等の工夫によりレベルアップが必要と思われる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

基礎演習AIに続き、大学生として必要な基礎学力を達成することが行動目標であるが、この科目だけで達成されたとは言い難い。年間を通した体系的な授業構成が検討課題である。